

平成 28 年度社会福祉法人福浜会事業報告

平成 29 年度、いよいよ社会福祉法人制度改革が始まり、平成30年度には医療・介護保険関係とともに次期報酬改定が行われる。当法人としては、その改革のスケジュールに則り、動きを始めている。このことについては、これまで、事業計画・報告において誌面で伝えてきた。今年度の報告は、法人内部のことや施設の様子を中心に報告する。

まず、施設整備について。ほぼこの 1 年をかけて進めてきた松ぼっくり従たる事業所スマイルの建物が完成し、いよいよ 4 月から開所となる。この日を迎えるまで、快く建物をお貸しくださった遠州中央農業協同組合の方々には感謝をしている。一人ひとりの障がいの状況等に合わせて対応していくときには、環境（建物や地域性だけでなく支援者も）要因が非常に重要である。その適不適が一人ひとりの気持ちの安定に影響を与える。そういう点ではこの地域は、住宅地と田園が適度に配置され、心の安寧につながるようなとても良い場所だと思う。

また、現在隣の敷地に、重症心身障害という重い障がいのある人たち（児童も）の日中過ごす場所を作りたいと、国に補助金申請をしている。1 年でも早く内示がおり、幅広い活動が可能となる広々とした新しい環境の下で、新たに活動が始まることをご本人やご家族も待ち望んでいる。

去年は、人材確保の難しさを痛感した 1 年だった。特に、看護師等の専門職の確保。結果として、人が集まらず、それまで放課後等デイサービス事業で通所されていた医療的なケアのある児童の皆さんには、利用を断らざるを得ない状況となった。多くの方たちを受け入れるとなると、複数の看護師が必要となる。サービスの低下を招いた責任を痛感している。そのような苦しい時期を経て、平成 29 年度からは、看護師に加え、生活支援員、児童指導員等のスタッフも揃うことができ、活動の選択肢も広がっていくのではないかと期待している。

障害のある児童が通う特別支援学校には、義務教育であっても医療的なケアが重篤であったりすると教員が家庭に出向く訪問教育となる子もいる。その役割の一端を担っている事業として地域療育支援センター事業がある。当法人は県から委託を受けている。地域からの相談だけでなく、時には家庭訪問し、ご本人への療育的な関わりをしたり、ご家族が安心して育ちに関わっていただけるようにアドバイスをすることがその役割である。とりわけ、大変な思いをして出産され、その後もNICU等で治療を受けながら長期に入院し、1～2歳で医療機器を付けたまま退院してくるケースもあり、ご家族は、医療的な処置を含めた健康面の不安を抱えて退院され、ご自身の心労も重なることも。そして成長過程もずっとそばにいる日々が多くなる。そのような不安を少しでも軽減できるとしたら、そこにこの事業の持つ意義がある。

法人や施設の役割は、利用者さんやご家族への支援だけではなく、地域や県単位、時には東海地区や国レベルでの研修や会議等に出掛けて、障害福祉全般について学習し、幅広い視野の下で支援のスキルを挙げていくこともある。地域で言えば、障がいのある方を地域で支えていくためのケース会議、高齢者の方たちに関わっている事業所とともに、様々な課題や悩みを共有しその解決に向けた取組み（地域包括ケア会議）、磐田市と袋井市と一緒に障害福祉のことを考えていく自立支援協議会、県レベルでは障害福祉の関係者の協会や障害種別ごとの研修や会議等。この事業報告にもその内容が記載されているが、直接障がいのある方と接し、その支援をすることが仕事ではあるが、内容は多岐に亘る。

施設の職員は、障がいのある人たちと関わることを自分の仕事として選んだわけだが、地域の方たちとの関わりや交流は、支えでもあり励みにもなる。施設ボランティアであったり、また行き交う路上でのお互いの挨拶であったり。これまで多くの方々に支えていただいたことに感謝する。

平成 28 年度 理事会

開催日	出席者数/ 理事総数	議 題
5/7	7 / 7	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年度社会福祉法人の磐田市指導監査実施結果（通知）及び是正・改善計画 2 平成28年度松ぼっくり従たる事業所施設整備に係る入札等の手続き（第1回資格委員会） 3 はまぼう定員変更に伴う障害福祉サービス事業指定変更申請 4 運営規程の変更 5 重症心身障害児(者)を主たる対象とする施設整備に係る計画
5/25	5 / 7	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年度社会福祉法人福浜会事業報告及び会計決算の承認（監査報告）
8/10	6 / 7	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成28年度松ぼっくり従たる事業所施設整備計画について 実施設計審査の報告及び計画の変更並びに資格委員会と今後の日程 2 重症心身障害児（者）を主たる対象とする施設整備に係る計画変更 3 松ぼっくり敷地の合筆及びそれに伴う定款変更
8/31	5 / 7	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成28年度松ぼっくり（従たる事業所）新築工事に係る工事監理業務委託契約 2 平成28年度松ぼっくり（従たる事業所）新築工事に係る入札参加資格確認審査 3 平成28年度松ぼっくり（従たる事業所）新築工事に係る立会人等の選出
12/7	7 / 7	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年度社会福祉法人福浜会指導監査結果 2 平成28年度松ぼっくり従たる事業所施設整備計画 3 重症心身障害児（者）を主たる対象とする施設整備 4 平成28年度本部会計及び施設・事業会計の第1次補正予算案 5 番号法施行に伴う特定個人情報取扱規程の設定 6 番号法等に基づく就業規則の改定 7 社会福祉法人制度改革に伴う検討事項
H29 1/25	6 / 7	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人福浜会評議員の選任につき同意を求めることについて
1/25	6 / 7	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法の改正に基づく社会福祉法人福浜会定款の全部変更 2 評議員選任・解任委員会設置及び評議員選任・解任委員会運営細則設定 3 評議員選任・解任委員会委員の選任 4 社会福祉法人福浜会職員旅費規程の改定 5 社会福祉法人福浜会法人本部旅費支給規程の廃止 6 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の設定 7 平成29年度あにまあと施設整備計画に係る基本設計の入札 8 平成29年度あにまあと施設整備計画に係る土地造成設計・許認可申請業務の入札
2/22	7 / 7	社会福祉法人福浜会評議員の選任につき同意を求めることについて
2/25	7 / 7	<ol style="list-style-type: none"> 1 次期理事及び監事選任の報告並びに次期理事長の選出及び理事長の職務代理者の指名 2 平成28年度社会福祉法人福浜会各事業補正予算 3 社会福祉法人福浜会育児・介護休業規程の改定
3/22	7 / 7	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年4月1日からの評議員候補者の推薦について
3/22	7 / 7	<ol style="list-style-type: none"> 1 松ぼっくり従たる事業所施設整備完成検査報告 2 平成28年度本部会計及び施設・事業会計の補正予算案 3 平成29年度法人及び各事業所事業計画 4 平成29年度法人会計及び施設・事業会計当初予算案 5 生活介護事業及び共同生活援助運営規程の変更

平成28年度評議員会

開催日	出席者数/ 評議員総数	議 題
5/7	15 / 15	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年度社会福祉法人の磐田市指導監査実施結果（通知）及び是正・改善計画 2 平成28年度松ぼっくり従たる事業所施設整備に係る入札等の手続き（第1回資格委員会） 3 はまぼう定員変更に伴う障害福祉サービス事業指定変更申請 4 運営規程の変更 5 重症心身障害児(者)を主たる対象とする施設整備に係る計画
5/25	10 / 15	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年度社会福祉法人福浜会事業報告及び会計決算の承認（監査報告）
8/10	11 / 15	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成28年度松ぼっくり従たる事業所施設整備計画について 実施設計審査の報告及び計画の変更並びに資格委員会と今後の日程 2 重症心身障害児（者）を主たる対象とする施設整備に係る計画変更 3 松ぼっくり敷地の合筆及びそれに伴う定款変更
12/7	12 / 15	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年度社会福祉法人福浜会指導監査結果 2 平成28年度松ぼっくり従たる事業所施設整備計画 3 重症心身障害児（者）を主たる対象とする施設整備 4 平成28年度本部会計及び施設・事業会計の第1次補正予算案 5 番号法施行に伴う特定個人情報取扱規程の設定 6 番号法等に基づく就業規則の改定 7 社会福祉法人制度改革に伴う検討事項
1/25	13 / 15	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法の改正に基づく社会福祉法人福浜会定款の全部変更 2 評議員選任・解任委員会設置及び評議員選任・解任委員会運営細則設定 3 評議員選任・解任委員会委員の選任 4 社会福祉法人福浜会職員旅費規程の改定 5 社会福祉法人福浜会法人本部旅費支給規程の廃止 6 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の設定 7 平成29年度あにまあと施設整備計画に係る基本設計の入札 8 平成29年度あにまあと施設整備計画に係る土地造成設計・許認可申請業務の入札
2/22	12 / 15	<ol style="list-style-type: none"> 1 次期理事及び監事の選任 2 平成28年度社会福祉法人福浜会各事業補正予算 3 社会福祉法人福浜会育児・介護休業規程の改定
3/22	14 / 15	<ol style="list-style-type: none"> 1 松ぼっくり従たる事業所施設整備完成検査報告 2 平成28年度本部会計及び施設・事業会計の補正予算案 3 平成29年度法人及び各事業所事業計画 4 平成29年度法人会計及び施設・事業会計当初予算案 5 生活介護事業及び共同生活援助運営規程の変更

平成28年度はまぼう・あにまあと活動報告

1. 在籍者の状況

はまぼう 平成28年度の定員35名及び定員緩和措置を含めた月別の在籍状況

区分	月	28年	5	6	7	8	9	10	11	12	29年	2	3	合計
		4									1			
入所		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
退所		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
月末 在籍	男	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	
	女	16	16	16	16	16	16	15	15	15	15	15	15	
	計	46	46	46	46	46	46	45	45	45	45	44	44	

あにまあと 契約者数

区分	月	28年	5	6	7	8	9	10	11	12	29年	2	3	合計
		4									1			
生活介護		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	23
児童発達		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
放課後等		16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	

日中一時支援事業デイサービス対象者

区分	月	28年	5	6	7	8	9	10	11	12	29年	2	3	合計
		4									1			
入所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末 在籍	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

2. その他の利用状況

区分	月	28年	5	6	7	8	9	10	11	12	29年	2	3	合計
		4									1			
養実 護習 等生	人員	0	0	2	(1)	0	0	3	0	1	1	0	0	7
	利用日数	0	0	9	1	0	0	11	0	2	5	0	0	28
実研 習修 ・生	人員	0	0	0	2	3	0	1	7	2	0	1	1	17
	利用日数	0	0	0	2	3	0	12	19	4	0	12	12	64
見学 者	件数	1	2	2	0	1	1	3	1	2	0	0	0	13
	人員	1	2	13	0	3	2	3	1	8	0	0	0	33
ポテ ライ ンア	延人数	31	19	30	25	24	22	19	27	14	18	17	26	272
	特記				地域交流会 127									

3. 活動の状況

活動全般について

はまぼう・あにまあとでは、4月に3名の新しい方が利用を開始した。気持ちの安定、変化等への気配り(気付き)を目標に、楽しく、気持ちよく活動に参加できるよう心掛けた。一方、変化の要因を特定することが難しく、対応に苦慮しているケースもある。

朝のミーティングでその日の活動を自分で選ぶように声を掛けている。時期や仲間との関係から、活動グループを変える利用者さんもいるが、ほとんどの方が定着している。新しい方については、できるだけご本人やご家族の意向を聞き、参加グループを決定した。一人ひとり向き合い、仲間作りも意識しながら、作業やレクリエーション活動に参加できるように実施してきた。

重心多機能事業あにまあとでは、身体機能保持のためのふれあい体操、二人のリフレクソロジーによるリフレクソロジーのほか、リハビリ訓練等(スポーツプログラマー及び理学療法士)を実施した。感覚刺激であるスヌーズレンは、昨年度時間的な問題や職員数の関係等から、十分できなかった時期もあった。

また放課後等デイサービス事業では、12月に入り職員配置ができず、利用されていた医療的ケアのある児童の受入れがそれ以降難しくなり、幅広いニーズに応えられなかった。次年度は、早期にこの課題を解決し、選ばれる、利用しやすい事業所を目指したい。

今年度も、複数のグループに分かれ、土曜レクリエーション活動を実施した。その内容は、担当者が利用者さんの希望を聞きながら決めた。その他、スカイハウスの日蔭を利用し、夏場に流しそうめん、水遊び、ご家族も参加したバーベキューなど季節に合った活動、工作や書初めなどの文化的な活動も実施することができた。施設でのグループ活動や個別体験は、利用者さんの意見や希望に沿って取組み、特に個別体験は、個別面談時にご本人・家族と相談し、その希望を個別支援計画に記載し実施するようにした。また本人会であるはまちゃん会も、クリスマス会や豆まきなどの行事を主体的に企画立案した。

健康面では、医療的なケアが必要な重症児(者)の方の長期入院や、ケア内容の変化があり、年齢が経るに従い、体調の変化が今年度も見られた。てんかん発作だけでなく、進行性の疾病や内臓疾患等で入院されるケースが複数あった。健康面での配慮が増々必要になってきている。家庭との緊密な連絡はもちろんであるが、利用者さんの主治医や法人の協力医等との情報交換の重要性が増している。

4. グループ活動報告

らでいしゅ

グループの主な作業活動は、受注作業・縫製等の自主製品・アルミ缶リサイクル・園芸・外部作業を中心にぼぷりん工房・オズグループと2つのグループに分かれて行った。外部作業以外は所属グループのにとらわれることなく、利用者さんがやってみたい作業を選び行った。

(1)ぼぷりん工房

①受注作業

〈ブリヂストン(株)〉

長年行ってきた、ブリヂストンの「CKT使用済みキャップ」の製造中止に伴い、昨年12月より「LD下パック」を開始した。工程を2~3段階に分け、個々の利用者さんに合った工程で進めていった。「LD塗装下キャップ清掃作業」は、部品が小さく細かい作業であるが、個々の利用者さんに合わせて補助具を使用したり、工程を分けるなどして、少しずつ無理のない範囲で行ってきた。

〈大洋工業〉

シートカバー袋詰めのご依頼作業を行う。作業にの慣れ、担当する工程にそれぞれが意欲的に取り組む様子がみられ、この1年で作業ペースも安定した。

②さをり織り

さをり織りは個性を大切にしている為、利用者さんが縦糸・横糸の選択、織り方まで本人に任せることでオリジナルの作品を作ることが出来た。織りあがった布は縫製作業によって製品化し、同じものがひとつと無いオリジナルのさをり織りは好評を得ている。

③縫製

さをり織りで織りあがった布の個性を生かせるように考え、携帯入れや巾着・ふくろう根付などの製品に仕上げた。トートバック・ポーチなどの製品については、ボランティアさんの協力も頂いた。

また、作る物や生地・ボタンの色を利用者さん自身に選んでもらうことで、自分で仕上げた達成感を味わうことや、製作意欲の向上にもつながった。

④クリスマスツリー

スプレーで色塗りをする担当・飾り付けの担当と利用者さんが別れ、それぞれ個性のあるツリーを楽しみながら仕上げることができた。

⑤印刷

パソコンが得意な利用者さんが年賀状作りを行った。数年間継続してやっていることで、短期間で仕上げる事が出来ている。利用者さん自身が考えながら自信をもって実施することが出来た。

(2)オズグループ

①アルミ缶リサイクル

毎週月曜日に、福田地区を中心にご協力くださる店舗や家庭を定期的に缶回収に廻り、収集したアルミ缶の缶つぶしを行った。毎週火曜日や缶が溜まった時に、業者へ缶運搬を実施。納品の際には、作業収入増につながるため、より買い取り金額の高い業者へ缶の運搬を行った。活動は、プルタブ取りと足踏み式及び卓上式缶つぶし機を使った缶つぶしに作業工程を分けた。缶つぶしは、段階的に工程を分け、利用者さん一人一人に合った工程を担当し、多くの利用者さん同士で協力し合いながら、缶つぶしを行うことが出来た。

②リサイクル活動

月に一回、施設に溜まったダンボールやペットボトル、雑誌等をクリーンセンターに運び、リサイクル活動を行った。準備段階から利用者さんと一緒に行い、一体となって活動を行うことが出来た。

毎月申請に行き、市からの助成金(古紙等資源集団回収事業奨励金)を受けた。

③園芸・畑

11月～3月の間、県庁玄関等に飾る30鉢のプランター作りをメインとして実施。グリーンバンクで頂いた種を蒔き、苗を育てた。県庁への納品・回収は、今年度も利用者さんと出掛け、通常とは違う活動で楽しみながらの納品であった。

野菜作りはボランティアさん主体で、さつまいも・玉葱を作り、収穫は利用者さんが中心となって行うようにした。採れた野菜等は販売した。

(4)外部作業

①コーケン工業

磐田市竜洋にある工場に通い、部品の組み立て作業(部品にゴムリング・銅リングをはめる作業)を行っている。仕事にも慣れ、作業内容もほぼ固定されているので、仕事のスピードも上がり、分量も増えてきている。新しい部品も増え、難しい工程もあるが、一人一人が責任を持ちながら作業に取り組むことができている。

②於保老健施設・さくらの苑

(於保老健施設)：毎週火曜日に利用者さん4名でベットメイキングを行った。それぞれが協力し合いながら、仕事に取り組んでおり、スムーズにシーツ交換が出来た。

(さくらの苑)：毎週水曜日にベットメイキングを行った。作業にも慣れ、スムーズにシーツ交換出来るようになった。困る事や分からないことには、しっかりと聞きに行くことが出来ていた。

(5)販売 (ぼぷりん工房・オズグループ)

出来上がった製品・野菜等は、地域のバザー、アプレゲール、お茶の山大園で販売した。地域との関わりを深めるためにも作品展覧会などに積極的に出展することで、意欲的に製品作りができた。地域のバザーでは、さをり織りの携帯・スマートフォン入れは好評だった。野菜等も地域のバザー等で好評であった。

その他の活動について

(1) グループ活動

<朝・帰りのミーティング>

- ・ 進行は曜日ごとに当番を決め、利用者さんが主体となり、やる気をもって行えた。
- ・ ミーティング後にラジオ体操を実施し、体を軽く動かすことで作業活動にスムーズに移ることが出来た。

<グループ活動>

5月にぼぷりん工房は高丘公園・エアパークへ、9月にオズグループがフラワーパークへ行く、どちらもお弁当を食べながらのんびりと過ごしたり、園内を見学して楽しむことが出来た。2月～3月には、オズグループは富士山静岡空港へ、ぼぷりん工房は3グループに分かれてレストランで昼食を食べ、浜岡原子力館や掛川ステンドグラス美術館など、少人数で落ち着いて過ごすことが出来た。いずれもいつもと違う活動に満足できた様子だった。

宿泊体験は4グループに分かれ、それぞれの希望にあわせ、活動することが出来た。

<体育館(オズグループ)>

体育館を借り、ボール遊びや縄跳び、バトミントン等、身体を動かす活動を月に1回程行った。普段の活動とは違った利用者さんの表情や動きを見ることが出来た。

他のグループにも参加を呼びかけ、グループの垣根を越えて楽しむことが出来た。

(2) 個別活動

スポーツ体験や料理作りなどの生活体験を含めた活動を少人数で個々の希望に合わせて、相談しながら実施した。それぞれの利用者さんが体を動かしたり、日頃出来ない生活体験をする事が出来た。(希望者のみ実施 実施状況 表1)

(3) 個別体験

事前にアンケートをとり、個別面談時にご本人やご家族の希望を聞きながら、体験したいことや外出先を決めて実施した。それぞれに楽しめた内容となった。(希望者のみ実施・実費徴収実施状況 表2)

表 1. 個別活動

実施日	内 容 (行き先)
8月22日(月)	プール (竜洋B&G)
8月26日(金)	プール (竜洋B&G)
8月31日(金)	プール (竜洋B&G)
10月21日(金)	マレットゴルフ (御前崎市)
10月25日(火)	ウォーキング (豊沢の丘公園)
11月17日(木)	ウォーキング (竜洋海洋公園)
1月26日(木)	料理作り (ロコモコ丼 ・スープ・デザート)
2月10日(金)	お菓子作り (ガトーショコラ)
2月21日(火)	カラオケ (まねきねこ)
3月 3日(金)	料理作り (手巻き寿司・みそ汁・デザート)
3月17日(金)	ボーリング (袋井グランドボウル)

表 2. 個別体験

実施日	内 容 (行き先)
9月28日(水)	浜松フルーツパーク
10月13日(木)	のんほいパーク
11月 4日(金)	大道芸ワールドカップ (静岡市)
11月18日(金)	豊田ラブリバー公園&カラオケ (まねきねこ)
11月22日(火)	のんほいパーク
12月14日(水)	掛川城
2月 6日(月)	ランチバイキングと入浴 (ヒノメゾン・ななつぼし)
2月17日(金)	いちご狩りと買い物 (サンサンファーム・遠鉄百貨店)
2月24日(金)	ランチ&カラオケ (ステーキハウス今之浦・コートダジュール)
3月 7日(火)	掛川花鳥園
3月10日(金)	浜名湖ガーデンパーク
3月14日(火)	大河ドラマ館
3月22日(水)	新金谷～千頭SLの旅

カラース

利用者数 10名（生活介護利用者9名、日中一時1名）

【医療的ケアのある方の現状】＜車椅子9名 うち全面介助者7名＞

	口腔 吸引	鼻腔 吸引	気管 切開	吸引 (気切部)	経鼻 経管栄養	経管栄養 (胃瘻)	経管栄養 (腸瘻)	呼吸器 管理	酸素 管理	インシュ リン注射
A	1	1				1				
B	1		1	1		1		1	1	
C	1		1	1	1				1	
D					1					
E	1						1			1
合計	4	1	2	2	2	2	1	1	2	1

[1]活動のまとめ

感覚・色彩等を感じる事の出来る作業を多く取り入れながら、体調に留意しつつ無理のない範囲でグループの皆が協力し合える活動を行った。

[2]主な作業内容 ～ 紙工芸・粘土細工（小麦粉粘土）・クッキー作り

①紙工芸

色彩を感じる事の出来る作業を行うために折り染めを取り入れ、それをノート・鉛筆の製品にし、紙すきで作った葉とセットで販売。その他、利用者さんの連絡帳・B5版ノートやメモ帳を販売した。

折り染めは個々の自由な感性で染めるため個性的な製品が出来上がった。ノート・鉛筆の糊付け作業は、利用者さんが一人で行うのは難しく、大半の人が介助や確認を必要としていた。

紙工芸製品はバザー等で幅広い年齢層の方に購入してもらう事が出来た。

②粘土細工

マグネット製品を中心に製作した。動物や野菜・花・食べ物など身近な物の形をマグネットに貼り付け販売しており子供さんに好評である。小さな細工を利用者さんが作ることは難しいが、職員と一緒に、指先や手のひらで平らにしたり丸めたりし、作る楽しさを味わえた。

③クッキー作り

利用者さんを中心にそれぞれ自分の出来る工程を担当し、バザー等での販売を中心に行った。利用者さんの活動ペースに合わせることが難しく忙しい時期もあったが、利用者さんにとっては無理なく活動することができた。

a. 生地作り工程

バター・砂糖の攪拌、鶏卵の攪拌、生地を練る作業を行う。バター・砂糖の攪拌と生地を練る作業は、材料をビニール袋に入れることで、その感触を楽しみながら作業することが出来た。

b. 型抜き・成型・焼く工程

成型は生地をラップに包みテーブルの上や手のひらで平らにするが、程よい厚みで出来る様になった。型抜きを自分の仕事として前向きに取り組む利用者さんの姿もみられたが、厚みにばらつきもあり注意を促しながら進めた。

c. 袋準備・袋詰め工程

シール貼り、クッキー・乾燥剤の袋詰め、袋綴じを流れ作業で行った。袋詰めは補助具を、袋綴じはシーラーを使用して、職員と一緒にを行った。袋綴じは職員の声掛けで確実に行うことが出来た。

透明な袋に飾りリボンは見た目にも良く好評であった。飾りリボンを作る作業ができる利用者さんがいて、仕事の幅が広がり喜びとなった様である。

[3]その他の活動

①朝・帰りのミーティング

毎日、利用者さんが交代で司会をして進行。出欠席の確認やその日の活動内容の確認をし、その日の反省・感想等を話してもらった。一日の活動を自分の意思で選択できる利用者さんが増えた。

②散歩・外気浴

出来るだけ外の空気に触れられるよう、体調に注意しながらはまぼう周辺の散歩・玄関前での外気浴を行った。散歩は全員が一緒に出掛けることは難しく、短時間の交代でおこなった。また長い時間外気にあたる疲れしてしまう利用者さんも居たため、散歩を短い距離で済ませ室内で待っている事もあった。又、歩ける利用者さんが車椅子を押すなど、他グループの利用者さんとの関わりもあり仲間意識の向上が見られた。

③足浴

冬季は車椅子利用者さんを中心に、足浴（場合によっては手浴）を多目に行い、体を温めると共に全身の緊張を和らげる様にした。他グループからの希望者もあり、リラックスした時間を過ごすことが出来た。

④レクリエーション

利用者さんから自分のやりたいものを聞き、職員が出した複数の選択肢の中から利用者さんが選んで行った。普段体を動かす機会が少ない人たちが多いため、ペットボトルボウリングやトランプ・百人一首（坊主めくり）・すごろくゲームなど室内でも楽しめることを行った。音声を楽しむCD紙芝居も内容を毎回利用者さんに選んでもらい、リラックスした時間を過ごしながらか楽しむことが出来た。

⑤外出・外食・納涼会

ボランティアさんの協力を得ながら行なった。

納涼会はグループの恒例行事となっている。夕食のカレー作りや花火など夜までの活動であるが、事故もなく皆楽しそうに参加出来ていた。納涼会の延長を利用し、2名の宿泊を実施した（はまぼうにて）。

実施日	内容（行き先）
6月10日（金）	しおさい竜洋
8月11日（木）～12日（金）	納涼会・宿泊
3月14日（火）	食事会

⑥個別体験

実施日	内容（行き先）
2月17日（金）	フルーツパーク（浜松市）
2月24日（金）	ボウリング（袋井市）
2月27日（月）	明治製菓工場見学（藤枝市）
3月6日（月）	nicoe（浜松市）

⑦ふれあい体操

毎週月曜日、スポーツプログラマーによる柔軟体操やマッサージ・触感覚運動・関節運動を行い、心身の緊張をほぐしリラクゼーションを促した。月1回（第3月曜日）理学療法士の方にも参加していただき、利用者さん個々の障がい程度に合わせた体操の仕方や注意点等を職員は教えてもらい対応した。

⑧リフレクソロジー

毎週1回、1回に3人（一人約30分）リフレクソロジストによる足裏マッサージ（施術前には足浴を実施して足を温めておく）を受け、リラックスした時間を過ごす事ができた。足裏刺激が良い効果となっている。

⑨食 事

個々に食べやすい形容を探り、刻み食（みじん切り・小口切り・一口大）やミキサー食の対応をした。

5. 土曜日レクリエーション

土曜日の通所日を利用して、レクリエーション的活動を、年間8回行った。

身体を動かしたり、文化的な活動など、参加者全員で一緒に楽しめる企画が多く、利用者さんの笑顔や笑い声が印象的であった。

日 付	内 容
4 / 23	ミニウォーキング
7 / 16	カラオケ
7 / 30	水遊び
8 / 20	水遊び
9 / 17	流しそうめん
11 / 5	ミニ運動会
1 / 7	書き初め
1 / 21	映画鑑賞

6. サークル活動

第3火曜日の午後の活動時間を利用してサークル活動を行った。4月に野外活動を中心とした「あおぞらサークル」、室内遊びを中心とした「あそびサークル」、文化的・芸術的な活動に触れ合う「ピカソサークル」の3サークルから希望をとり、1年間それぞれのサークルで企画・実施した。楽しんで参加している様子が伺えた。

実施内容

	あおぞら サークル	あそび サイクルA	あそび サイクルB	ピカソ サークル
5 / 17	計画	計画	計画	計画
6 / 21	かき氷	黒ひげ危機一髪	ボウリング	絵を描こう
7 / 12	水遊び	すごろく	ワニワニパニック	お茶会
9 / 20	公園開拓	クレープ作り	ボール入れ競争	合唱
10 / 18	風見の丘	カラオケ	スノーズレン	ハロウィン
11 / 8	御前崎灯台	楽器あそび	黒ひげ危機一髪	作品作り
12 / 20	エコパ	凧作り	ポッチャボール作り①	ペーパークラフト (クリスマス)
1 / 17	エコパ	凧あげ	ポッチャボール作り②	初釜
2 / 21	チョコフォンデュ	ボウリング	ポッチャ	おひなさま作り
3 / 21	福田港	風船バレー 反省会	ポッチャ大会	反省会

7. 行事・バザー報告

はまぼう・あにまあと 平成28年度年間行事・バザー表

月	行事等	担当	参加者		バザー等	担当	参加者	
			はまべ会	ボラ			利用者	はまべ会
4	年度始めの会(1)							
5	大掃除(14)	環境美化委員会	○		ヤマハジャンボリー(29)		○	○
6					磐田北高校文化祭(4)		○	呼びかけ
7	開所記念日(1) 地域交流会(23)		○ ○					
8								
9								
10	地域清掃	環境美化委員会						
	バーベキュー会(22)							
11	ふれあい作品展(26～) 大掃除(26) ヤマハ労連観劇(29)	環境美化委員会	○ ○ ○		浅羽夢広場(6) 光る子まつり(19) ふくでふれあいまつり(20)		○ ○	○ ○
12					ぬくまるマーケット(11)			
1	新年会(6) 個別面談	各G						
2	個別面談	各G						
3	個別面談	各G						
《備考》					《毎日販売》			
<ul style="list-style-type: none"> グループ活動…外出・外食・料理作り・スポーツ等実施。ボランティアさん参加 個別体験…個人の希望に沿って時期・場所等を設定。 土曜レク(開所日に実施)。 H28年度より、サークル活動実施。 個別面談は…1～3月に実施。 					<ul style="list-style-type: none"> ・ アプレ・ゲール ・ お茶の山大園 			
					《その他販売》			
					<ul style="list-style-type: none"> ・ はまぼう販売 			

8. ともしびコンサート

音楽活動をしているNPO法人に依頼し、月1回、季節感のある音楽（歌）や楽器に親しむ機会を設け、室内コンサートを開催していただいた。童謡からクラシックまで幅広い音楽に触れられる機会、参加者は演奏を聴いたり皆で歌ったり、楽しく過ごすことができた。

9. 環境美化委員会

(1) 大掃除前後等、必要に応じて委員会を開き、情報の共有を図ることが出来た。日頃の環境美化については、職員一人一人が意識して取り組めるよう、委員を中心に呼びかけをした。

毎日の清掃については、職員一人一人が美化につとめ、協力しながら行う事が出来ていた。

(2) 大掃除については、年度始めにアンケートをとり、希望日に合わせ参加の呼びかけをした。家庭へのお知らせや準備、事前に担当場所等を知らせたことで、戸惑う事なく進めて行くことができた。

今年度は、夏季・冬季大掃除を土曜日にする事で、多くの保護者さんに協力をしてもらい、実施することが出来た。

(3) ゴミの分別については、徹底されつつある。

大掃除前にクリーンボックスを設置することで、大きなゴミを処理することができた。

10. 安全委員会

(1)利用者の方の安全確保

- ・ 委員会内での話し合い、事故防止・再発防止策検証チェックを行い、事故防止に努めるよう情報収集、安全管理体制の見直しを行った。
- ・ 「事故報告書」「ヒヤリハット報告書」の集計・活用。

(2)防災

- ・ 避難訓練を毎月1回、避難訓練計画に合わせて実施。
- ・ 法人全体で防災内部研修の実施や緊急時安否確認名簿作成・配布を行った。
- ・ H23年度より、各施設・事業所の防火管理者による防災担当者会議を開催し、大規模災害時の対応等について協議を継続している。

(3)施設設備（環境）の保全管理

- ・ 設備自主検査を9月、3月に実施。
不具合箇所 … 詳細については、建物・設備等点検結果表ファイル参照。

(4)安全運転管理

- ・ 春、秋の安全運転管理協会の街頭指導に参加。
- ・ 安全運転管理協会の事務局だよりの連絡。

(5)緊急事態への対応

- ・ 緊急事態（車両等の事故）に対しては、各職員がマニュアルに従い、速やかに対応出来ていた。
- ・ 今後も、マニュアルの検討を重ね、分かり易く対応しやすいものにしていく。

11. 生活・保健衛生委員会

(1)健康診断及び記録について

健康診断は春と秋に実施。検査当日の欠席者については、レントゲン撮影は個々にかかりつけの病院等へ行き全員実施した。検尿・検便は随時まぼうで行い、保菌検査は職員、クッキー作業に関わる利用者さん、食事介助に関わるボランティアさんにも毎月実施した。

血圧については、健診当日は慌しさの影響を受け正しい数値が測定できない場合もあるため日を改め測定した。

健康診断の結果については、嘱託医に確認・捺印を頂き各家庭への報告をした。必要に応じて家庭への電話連絡も行った。（通院については家庭にお任せした。）

記録については、個人表、一覧表、嘱託医訪問記録、検査結果等、随時記入するようにした。

服薬はグループ単位で把握し、服薬ミスが無いように管理した。処方箋は昼食以外の物も提出して頂き、万が一の時に把握できるようにした。

(2)体重測定について

毎月月初めに実施した。結果は、体重表（カード）に記入し、家庭に確認して頂いた。測定の結果を健康チェックの目安とし、食事量を加減したり通院時に持参する家庭もあった。

(3)機関誌について

年に4回法人全体で保健だよりを発行しする予定であったが、2回の発行となってしまった。、インフルエンザについては、緊急のお知らせ（情報公開や予防法）等を各家庭に配布し、注意を呼びかけた。

(4)衛生面について

身だしなみについては、連絡帳等で家庭と連絡をとり対応している。徹底されつつあるが、改善の必要な人がいるので、引き続き本人や家庭に働きかけをしていく。

ハンカチ所持を呼びかけていることで個人での所持率は高まったが、今後も声掛けが必要だっ

た。トイレでのスリッパへの履き替えが定着していない人もいたので、今後も対策が必要だった。寝具については布団、毛布の天日干しがあまりされていなかった。

(5)病気予防について

食中毒や風邪・インフルエンザの予防のため外から帰った時や、食事の前にもうがい・手洗いの声掛け・マスク着用を促した。そのため職員が率先して行なう姿勢が多くみられた。

ノロウイルスに関して汚物処理のための消毒薬(次亜塩素酸泡タイプ)の留置、週一回施設内の消毒薬での拭き掃除を徹底した。

部屋の換気や加湿器の使用を心がけ衛生面に注意した。

感染症についての職員会議にて伝え、施設内での感染予防を促した。

(6)防虫防鼠について

環境美化委員会にて大掃除やバルサン実施。

(7)日用品・医薬品について

トイレットペーパーやボックスティッシュ等、在庫確認の上、随時発注するようにした。医薬品については、使用期限の確認と在庫チェックの上、必要に応じて発注・補充した。

個人で昼に服薬がある利用者さんについては、服用の確認と声掛けを行った。

(8)着替えについて

最近では、利用者さん一人ひとりが自分の着替えを持ってきているため、ほとんど貸し出すことはなかった。

(9)歯磨き・うがいについて

各自で食後の歯磨きやうがいを行っていたが、必要な利用者さんに対しては全面介助や仕上げ磨きを行った。うがいも上手に出来るように促したが、うがいが難しい利用者さんに対しては、お茶や水を飲むことで口腔内の清潔に努めた。

(10)歯科検診について

今年度初めて、訪問歯科による歯科検診を全利用者さん対象に実施した。

12. 人権擁護・虐待防止委員会

利用者さんの人権を擁護し、虐待を未然に防止するために、管理者を責任者とし、虐待防止の組織(人権擁護・虐待防止委員会)を設置。今年度も研修担当者との協力をし、合同研修会にて利用者さんの人権擁護や虐待防止について職員への周知を図った。また、虐待防止チェックリストは、10月と3月(半期に一度)に実施し、職員一人ひとりが自己意識を高められるようにした。

会議では、合同研修会での内容についての話し合いを行った。利用者さんの安心、安全と人権擁護の観点から、適正な支援が提供され、利用者さんの自己実現と社会参加のための支援を妨げることのないよう、定期的にまたは適宜、委員会を開催し、虐待の防止に努めていくことを確認した。

また、利用者さんの呼称(呼び方)を「さん付け」に徹底できるように、全職員に呼び掛けを行っている。今後も研修会、会議の中で職員の意識の向上を図るとともに、苦情解決担当者や安全委員会、研修担当者等と連携しながら具体的な活動を計画し、組織として質の高い支援を提供できるよう努めていく。

13. はまちゃん会(利用者本人会の代表者会)

主に土曜日の通所日を利用して12回開催した。

意見交換会など利用者さん主体で意見や要望を出し合い、恒例となったはまちゃん会主催でのクリスマス会や豆まき会もスムーズに企画・実施する事ができ、利用者さんの自信や楽しみにつながった。

第1回 4/ 2(土)	今年度の計画	第7回 12/17(土)	意見交換会
第2回 5/ 7(土)	地域交流会について	第8回 12/22(木)	クリスマス会
第3回 5/14(土)	意見交換会	第9回 12/24(土)	クリスマス会の反省
第4回 5/28(土)	皆がやりたい企画を出し合う	第10回 1/14(土)	豆まき会について
第5回 9/24(土)	クリスマス会について①	第11回 1/28(土)	豆まき会
第6回 11/26(土)	クリスマス会について②	第12回 3/18(土)	豆まき会の反省 今年度の反省

14. 内部研修

水曜日午後の時間を利用し、年間計画に従い研修担当者で起案を立て内部研修を実施した。

平成28年度は、法人全体研修6回実施した。地域生活支援・放課後等デイサービスとの兼ね合いもあり、職員全員参加は難しかったが、第6回については開所日の就業時間後に行ったため、多くの職員が出席できた。(内容については下記参照。)

また、人権擁護・虐待防止委員会とも協力をし、虐待防止に対する意識付けができるような研修も行った。内部での出張報告については、今年度は実施することができなかった。出張で学んだ内容を職員間で共有できるよう、来年度は定期的に研修を実施するとともに、職員の意欲向上に努めていきたい。

日付	内 容	担当者
6/8	支援の振り返り 結・GH・地域生活支援事業の事業報告 理事長の話 (合同研修会)	研修担当
9/7	職員のためのケアタイム、防災地区別顔合わせ 理事長の話 (合同研修会)	防災担当 研修担当
11/30	歯科衛生士による口腔衛生指導 理事長の話 (合同研修会)	生活保健委員会 研修担当
1/11	個別支援計画作成の流れ 理事長の話 (合同研修会)	研修担当
2/1	救命処置について 人権擁護・虐待防止委員会によるグループ討議 理事長の話 (合同研修会)	人権擁護・虐待防止委員会 研修担当
3/18	岡本雅子さん講演 理事長の話 (合同研修会)	研修担当

15. 相談・福田チーム検討会・地域包括ケア会議

施設等での外来相談については、サービス管理責任者、相談支援専門員・リーダー・地域生活支援担当者を中心に、磐田市、袋井市等の委託相談事業所などの関係機関と連携をとりながら実施している。内容は、通所に関する相談、学齢児の長期休暇時や放課後の支援の相談、進路相談、在宅者への支援等。法人内のサービスに直結するものでないケースは、地域療育支援センター事業として実施していることもある。特に就学前の重心児への支援は、家族支援も兼ねて家庭訪問をするなどの対応をしている。

また福田地区在宅者のケース検討会(福田チーム検討会)や地域包括ケア会議に参加。地区内の各機関が一致した認識をもつことができ、協力して地域生活支援を行っていく土台作りの場となっている。

16. 中遠地域自立支援協議会及び中東遠圏域自立支援協議会

中遠地域自立支援協議会は、磐田市及び袋井市が地域生活支援事業実施要綱(厚生労働省通知)に基づき、障害福祉に関するシステムづくり(相談支援事業等)のため、関係機関の連携強化、社会資源の開発・改善等を推進する目的で設置し、幹事会、代表者会、作業部会(専門部会)をもって構成されている。この参加者については、今年度も法人全体で担当職員を決めて出席。

「相談支援連絡会」や作業部会(精神部会、知的・身体部会)及び「こども部会」「就労」「地域生活支援」「重心部会」「防災部会」の各専門部会、そして地域生活支援部会の中の「グループホーム」「ショートステイ」「自閉症等在宅支援部会」の課題別検討会に参加。

この内、「相談支援連絡会」「重心在宅支援専門部会」「防災部会」「地域生活支援専門部会」とその中の課題検討会である「グループホーム」「自閉症等在宅支援部会」については、今年度も福浜会が担当した。

17. 重症心身障害児(者)の在宅支援に関する会議

中遠地域自立支援協議会重心部会として、訪問看護ステーション所長会議に参加し、連携を模索。中東遠圏域自立支援協議会重心部会としては、医療をテーマとした「わくわく生活検討会」及び支援者同士のつながりを深める「支援者連絡会」を関係者と協力し実施した。

その他関係機関との連携や県主催の会議、研修については下記のとおり実施、参加した。

① 特別支援学校等の教育現場の見学、手をつなぐ育成会や肢体不自由児者父母の会等の家族や本人が参加する団体の総会及び活動への参加。

② 重症心身障害のある人の在宅支援に関する会議に参加

静岡県主催： 「重症心身障害児(者)在宅支援推進連絡調整会議及び作業部会」

「重心看護従事者・介護従事者養成研修」

「重心ケアマネジメント従事者養成研修」

ゆうあいのさと「県西部子どもの在宅支援ネットワーク協議会」

平成28年度あにまあと活動報告

生活介護

利用者 現在契約者 5名
 <車椅子 5名 うち全面介助者 5名>

	口腔吸引	鼻腔吸引	気管切開	吸引 (気切部)	ネブライザ ー吸入	経鼻 経管栄養	経管栄養 (胃瘻)
A	1	1					
B			1		1	1	
C	1		1	1			1
合計	2	1	2	1	1	1	1

[1]活動のまとめ

感覚・色彩等を感じる事の出来る作業を多く取り入れながら、体調に留意しつつ皆で協力し合い活動を行った。

[2]主な作業内容 ～ 紙工芸・粘土細工（小麦粉粘土）・クッキー作り

①紙工芸

色彩を感じる事の出来る作業を行うために折り染めを取り入れ、それをノート・鉛筆の製品にし、紙すきで作った葉とセットで販売。その他、利用者さんの連絡帳・B5版ノートやメモ帳を販売した。

折り染めは個々の自由な感性で染めるため個性的な製品が出来上がった。ノート・鉛筆の糊付け作業は、一人で行うのは難しく職員の介助や確認を必要としていた。

紙工芸製品はバザー等で幅広い年齢層の方に購入してもらう事が出来た。

②粘土細工

マグネット製品を中心に製作した。動物や野菜・花・食べ物など身近な物の形をマグネットに貼り付け販売しており子供さんに好評である。小さな細工を利用者さんが作ることは難しいが、職員と一緒に、指先や手のひらで平らにしたり丸めたりし、作る楽しさを味わえた。

③クッキー作り

利用者さんを中心にそれぞれ自分の出来る工程を担当し、バザー等での販売を中心に行った。利用者さんの活動ペースに合わせる事が難しく忙しい時期もあったが、利用者さんにとっては無理なく活動することができた。

a. 生地作り工程

バター・砂糖の攪拌、鶏卵の攪拌、生地を練る作業を行う。バター・砂糖の攪拌と生地を練る作業は、材料をビニール袋に入れることで、その感触を楽しみながら作業することが出来た。

b. 型抜き・成型・焼く工程

成型は主に利用者さんが行った。生地をラップに包みテーブルの上や手のひらで平らにするが、程よい厚みで出来る様になった。型抜きを自分の仕事として前向きに取り組む利用者さんの姿もみられたが、厚みにばらつきもあり注意を促しながら進めた。

c. 袋準備・袋詰め工程

シール貼り、クッキー・乾燥剤の袋詰め、袋綴じを流れ作業で行った。袋詰めは補助具を、袋綴じはシーラーを使用して、利用者さんを中心に職員と一緒にを行った。袋綴じは職員の声掛けで確実にを行うことが出来た。

透明な袋に飾りリボンは見た目にも良く好評であった。

[3]その他の活動

①朝・帰りのミーティング

毎日、利用者さんが交代で司会をして進行。出欠席の確認やその日の活動内容の確認をし、その日の反省・感想等を話してもらった。一日の活動を自分の意思で選択できる利用者さんが増えた。

②散歩・外気浴

出来るだけ外の空気に触れられるよう、体調に注意しながらはまぼう周辺の散歩・玄関前での外気浴を行った。散歩は全員が一緒に出掛けることは難しく、短時間の交代でおこなった。また長い時間外気にあたる疲れしてしまう利用者さんも居たため、散歩を短い距離で済ませ室内で待っている事もあった。又、歩ける利用者さんが車椅子を押すなど、他グループの利用者さんとの関わりもあり仲間意識の向上が見られた。

③足浴

冬季は足浴（場合によっては手浴）を多目に行い、体を温めると共に全身の緊張を和らげる様にした。他グループからの希望者もあり、リラックスした時間を過ごすことが出来た。

④レクリエーション

利用者さんから自分のやりたいものを聞き、職員が出した複数の選択肢の中から利用者さんが選んで行った。普段体を動かす機会が少ない人たちが多いため、ペットボトルボウリングやトランプ・百人一首（坊主めくり）・すごろくゲームなど室内でも楽しめることを行った。音声を楽しむCD紙芝居も内容を毎回利用者さんに選んでもらい、リラックスした時間を過ごしながらか楽しむことが出来た。

⑤外出・外食・納涼会

ボランティアさんの協力を得ながら行なった。

納涼会はグループの恒例行事となっている。夕食のカレー作りや花火など夜までの活動であるが、事故もなく皆楽しそうに参加出来ていた。

実施日	内容（行き先）
6月10日（金）	しおさい竜洋
8月11日（木）	納涼会
3月14日（火）	食事会

⑥個別体験

実施日	内 容（行き先）
2月24日（金）	ボウリング （袋井市）
3月 6日（月）	n i c o e （浜松市）

⑦ふれあい体操

毎週月曜日、スポーツプログラマーによる柔軟体操やマッサージ・触感覚運動・関節運動を行い、心身の緊張をほぐしリラクゼーションを促した。月1回（第3月曜日）理学療法士の方にも参加していただき、利用者さん個々の障がい程度に合わせた体操の仕方や注意点等を職員は教えてもらい対応した。

⑧リフレクソロジー

毎週1回、1回に3人（一人約30分）リフレクソロジストによる足裏マッサージ（施術前には足浴を実施して足を温めておく）を受け、リラックスした時間を過ごす事ができた。足裏刺激が良い効果となっている。

⑨食 事

個々に食べやすい形容を探り、刻み食（みじん切り・小口切り・一口大）やミキサー食の対応をした。

放課後等デイサービス

利用者 現在契約者 16名

【医療的なケアのある児童】

	口腔吸引	鼻腔吸引	気管切開	吸引 (気切部)	経鼻 経管栄養	経管栄養 (胃瘻)	腹膜透析
A							1
B	1	1				1	
C	1	1				1	
D			1	1		1	
E	1	1	1	1	1		
F	1	1				1	
G					1		
H						1	
合計	4	4	2	2	2	5	1

[1]主な活動内容

(1)コミュニケーション支援

①音楽遊び

子ども達が好む音楽（アニメソング、童謡等）を中心に、音楽鑑賞を行った。リズムに合わせて、手拍子をしたり、身体を揺らしたりする姿が見られた。今後は、興味の幅をひろげられるように、様々な音楽を取り入れていく。

②感覚遊び

積み木や形合わせの玩具を使い、微細運動を行った。継続して行うことで、バランス・形をスムーズに認識できるようになってきた。

バランスボールを使っの、身体全体を動かす遊びを行った。不安定な体勢になることに慣れず、苦手な子どももいた。興味の示し具合を見ながら、今後も誘い掛けを継続していく。

③読本

色彩豊かな本、ストーリーの分かり易い本を中心に、読み聞かせを行った。

外出が可能な時には、市立図書館に出掛けて、普段なかなか読むことのできない本に触れる機会を設けることができた。

(2)社会化

①統合保育

友達と同じ時間を過ごすことで、自分の気持ち（嬉しいこと、嫌なことなど）を言葉だけではなく、仕草や表情によって伝えられるようになってきた子どももいる。今後は、子ども達が気持ちを表出しやすいよう、職員が感じ取れるよう活動をしていく。

②外出

散歩（外気浴を含め）は積極的に行うことができた。天気や体調を考慮して、時間等は無理なく行えた。

多人数での外出や、社会体験としての外出は実施することができなかった。

(3) 身体機能向上

ふれあい体操やリフレクソロジーにおいては、普段なかなか動かすことのない関節や、足裏のマッサージを受けることで、良い刺激になっています。

スヌーズレンにおいては、五感を刺激しながらも、リラックスできる環境を作り、普段過敏に反応してしまっている感覚を休ませられるように促しました。

[2] その他

体調管理

医療ケアの必要な子どもが多く、体調を崩しやすいことも多いため、家庭と連絡を密に取りながら、体調管理には気を付けた。

欠席時には、様子伺いを行った。

児童発達支援

利用者 現在契約者 2名

【医療的なケアのある児童】

	気管切開	吸引（気切部）	酸素管理	呼吸器管理
A	1	1	1	1
合計	1	1	1	1

[1] 活動のまとめ

新たに1件の契約をおこない、契約者2名になった。他事業所と併用利用していて、土日の利用が中心だった。閉所日の利用が多かったので、マンツーマンで関わることができた。

事業所利用に関する相談（他事業所も含めて）が数件あった。ご家族の意向や、こどもの状態（医療ケア等）に対応することができる体制を整えていく必要がある。

看護師体制が整わず、医療的ケアの必要な児童の受入については、12月から一時休止をしている。

平成28年度そるとぼっと活動報告

1. 在籍者の状況

平成28年度の定員20名及び定員緩和措置を含めた月別の在籍状況は次の通り

区分	月	28年										29年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退所		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
月末 在籍	男	20	20	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18		
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	計	23	23	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21		

【在籍者障害支援区分】 区分6→3名、区分5→12名、区分4→5名、区分3→2名(年度末時点)

日中一時支援事業デイサービス対象者

区分	月	28年										29年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月末 在籍	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			

2. その他の利用状況

項目	月	28年										29年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
特実 支習 等生	延人員	0	0	6	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6	
	利用日数	0	0	6	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6	
実研 習修 生	延人員	0	8	8	1	0	0	1	10	6	6	2	0	42	
	利用日数	0	4	4	1	0	0	1	3	3	3	1	0	20	
見学 者	件数	0	0	1	5	2	0	0	0	0	0	0	0	8	
	人員	0	0	11	5	2	0	0	0	0	0	0	0	18	
ボテ ライ ンア	延人数	0	0	0	1	2	1	1	5	6	0	6	0	22	
	特記									クリスマス会		豆まき			

3. 活動の状況

6月と3月に利用者さんの2名退所があった。ご本人とご家族の希望により就労移行支援と高齢者施設に移られた。グループ編成は3グループで活動を進めたが、年度当初に職員の入れ替りがあったため、せさみグループとみんなグループと一緒に活動することで対応を図った。新しい職員が入ったことで雰囲気も変わり利用者さんにも良い変化が見られた。年度の後半になり利用者さんに変化が見られたため、個別対応を図りながら落ち着いて過ごすことが出来るように配慮をした。

作業活動ではポストイングや空き缶つぶし等外での活動も取り入れ、グループに関係なく利用者さんの希望する(得意とする)作業を行った。その他の活動として外出や散歩、体育館で身体を動かすこと、音楽鑑賞、料理作り、また宿泊体験や個別体験、水泳、ボーリング、カラオケ等を実施した。ハロウィンやカフェ体験等、各グループ毎にご家族に呼びかけて利用者さんと一緒に活動に参加して頂くこともできた。

〔作業活動について〕

① シートカバーセット (大洋工業)

引きはがす、丸める、たたむ、チャックの空け閉め、袋に入れる等の工程があり、分担することで多くの利用者さんが取り組むことが出来た。

② LDキャップ(ブリヂストン)

得意な利用者さんを中心に取り組むことが出来た。

③ 割箸袋入れ (藤本商会)

紙のさやに割箸を入れる、ビニール袋に入れる、爪楊枝を入れる、ビニール袋を閉じる、おしぼりをポケットに差しこむ、という工程をそれぞれ分担して行い、安定した状況で進めることが出来た。

④ ポスティング(アドポスティング)

2ヶ月に1～2回、歩いてチラシを決められたポストに入れる。配布エリアを追加したが、比較的安全なエリアなので利用者さんが交代で参加できた。

⑤ キャンドル作り(自主製品)

材料のロウを砕いたり、砕いたロウを型に入れる工程で関わり、手作りのキャンドルを作った。

⑥ ポストカード作り(自主製品)

パソコンのペイント機能を使い、季節に合ったカードや新たなテーマを決めて新作をこつこつと作成した。

⑦ ハンガーモップ作り(自主製品)

ワイヤーハンガーに短く切った毛糸をくくりつけ、成形した後に目鼻をつけてカラフルで表情豊かな「ハンガーモップ」を作成した。

⑧ エコビーズアクセサリ作り(自主製品)

利用者さんが描いたり色付けしたペットボトルを、オーブンで焼いてビーズを作り、ストラップやブレスレットを作成した。

⑨ お茶注文販売

新茶、水出し煎茶、年末年始のシーズンに注文販売を行った。

〔その他の活動について〕

① 施設行事

・宿泊体験 (6/24～25、7/8～9、8/5～6、8/26～27、9/9～10)

希望者21名の内19名がそるとぼつとに宿泊、2名は1日目のみ参加。5グループに分かれ、大衆浴場に出かけたりファミリーレストランで好きなメニューを食べたりして楽しく過ごした。

・ファミリーウォーキング (5/14)

ご家族と一緒に掛川市の西大谷ダム湖にて実施。利用者さんとご家族、ボランティア43名が参加。

・流しそうめん (9/17)

家族と一緒に、駐車場で流しそうめんを行った。樋を3カ所にしたため、順番を待たずに楽しむことが出来た。利用者さんと家族、35名が参加。

・ヤマハ労連チャリティー公演 (11/29)

劇団四季「王子とこじき」にご招待いただく。普段体験できないダイナミックなステージを楽しむことができた。利用者さんと付添のご家族、20名が参加。

・クリスマス会 (12/24)

クリスマス会を楽しんだ後、グループ毎に分かれボランティアさんと一緒にケーキをデコレーションして一緒にいただく。利用者さん17名、ボランティアさん6名が参加。

・新年・成人を祝う会 (1/9)

新成人の利用者さんをお祝いし、後半はグループに分かれ初詣に出かける。利用者さん19名が参加。

・豆まき (2/1)

ボランティアさんと一緒に豆まきをして、クレープ作りを楽しむ。利用者さん21名、ボランティアさん4名が参加。

② 個別体験

利用者さんの希望に沿って一緒に楽しめる内容を計画し、少人数で出かけた。

5 / 26	J R・天浜・赤電の旅(浜松市)	3名参加 (付添2名)
6 / 14	はままつフルーツパーク(浜松市)	1名参加 (付添1名)
8 / 23	浜名湖スピードボート(浜松市)	2名参加 (付添2名)
9 / 7	大井川鉄道SLと温泉(島田市)	3名参加 (付添2名)
10 / 8	大井川鉄道SLと食事(島田市)	3名参加 (付添2名)
10 / 14	はままつフルーツパーク (磐田市)	3名参加 (付添2名)
12 / 13	アサヒ飲料工場見学(富士宮市)	3名参加 (付添2名)

③ 料理作り

レクリエーションやグループ活動等の中で、カレーライス、サラダ、フライドポテト、パンケーキ、パフェ、バナナチョコ、クッキー、おしるこ、かき氷等を作って食べた。

④ スポーツ・文化活動

利用者さんの希望を確認し、水泳(6名)、ボーリング(4名)、カラオケ(9名)をそれぞれ小グループで楽しんだ。

⑤ その他の余暇活動

土曜日のレクでは、そうめんピザ作り、パフェ作り、クリスマスリース作り、絵馬作りを行った。また季節合わせた壁面装飾と一緒に製作して施設内に掲示した。磐田市ふれあい作品展に個人と共同製作で参加。体力作りも兼ねて外出やウォーキングを実施したり、近くの体育館でボール遊び等で身体を動かした。はまぼうで行われる「ともしびコンサート」に希望者が参加した。

⑥ 避難訓練

毎月、地震または火災を想定して避難訓練を実施、11月には総合防災訓練を行う。今年度は事前予告をしないで実施、消防署への通報訓練も取り入れて行った。

4. グループ活動報告

せさみグループ (男性7名、女性1名)

みんとグループ (男性5名、女性1名)

年度途中に職員の入れ替わりがあり、体制が変化したため昨年出来ていた支援などができず、利用者さんにご迷惑をかけしてしまいました。朝と帰りの会はそれぞれのグループで行ったが、活動内容や昼食の場所は、利用者さんの希望を確認したり、適性を考慮してグループを超えて実施した。また、昼食のテーブル配置を変更して、雰囲気を一変した。

そんな中、利用者さん一人ひとりの思いに添えるよう意向を確認しながら活動したが、なかなか全てがとはいかず、まだまだコミュニケーションに課題が残った。

① 作業活動

ブリヂストンの仕事量が著しく低下し、いずれは無くなって行くとのこと。そのため、昨年度から取り入れたシートカバーセットの仕事にシフトしている。工程が複数あることから、全員参加で取り組むことができている。また、できる人は限られてしまったが、箸と自主製品作成（ハンガーモップ・ポストカード）を行った。空き缶つぶしについては、2階の利用者さんと共に希望者を募り実施した。なお、シートカバーについては、在庫過剰により材料の未入荷があり、クリップセットの数合わせを取り入れた。意外と自助具を活用するとスムーズに取り組むことができた。ポスティングも実施、散歩もかねて行った。

利用者さんによっては、運搬するなどといった動きのある作業の方が向いている人もいるので、作業の一環として取り入れた。(例えば、月曜日、水曜日、木曜日とそれぞれ決められた日に出せるよう、ゴミの取りまとめとゴミ捨て場までの運搬、書類の配達と空き缶の積み込みと運搬、その他納品など)

② その他の活動

月曜日、金曜日の午後に外出、木曜日の午前に体育館で体を動かす活動、火曜日と木曜日は、隔週で外出と作業を取り入れた。作業活動中にも少人数での散歩に出掛けた。また、外出方法や内容として、マイクロバスを利用した活動等も取り入れた。利用者さんによっては、活動に合わせて2階のグループに参加する形もとった。地域の公園での食事、希望によりザリガニ釣り、凧揚げを実施した。

③ グループ活動

10月にハロウィンパーティー、12月に民生委員さんの協力のもとクリスマス会を行った。ご家族と一緒に参加できたこともあり、それぞれに余暇活動を楽しむ姿が見られた。また、おかし(デザート)作りも行った。

ばせりグループ (男性7名、女性1名)

職員の変更があったものの、利用者さんは戸惑う様子もなく活動できた。昨年利用を始めた男性利用者さんもすっかり慣れたようで宿泊体験に参加でき、ことば遊びなどで職員との関わりも増えたことは嬉しい変化だった。

日中活動は作業を中心とし、午前中は作業、午後は曜日毎に日課を決め作業や外出、自由時間とした。拘りが強く変更が苦手な利用者さんが多いため、混乱や不安を避けるように出来るだけ日課の変更は少なくし、朝の会で確認するようにしているが、次第に変更も受け入れることができるようになってきたと感じる。

互いの行動で影響し合い不安定になってしまう場合には、作業場所を変更する等の方法をとった。気になることの確認や、訴えにきちんと答えることで安心して過ごせるよう気を配った。安心できる居場所や人の存在の重要性を改めて感じた。

① 作業活動

主な作業として割り箸、ブリヂストンのLDキャップ分離作業、シートカバー作業、期間の

仕事としてポスティングを行った。作業場所や作業工程の工夫などで安定してできるよう配慮し、新しいことにもチャレンジした。外部作業としてベッドメイキングにも1名の利用者さんが継続して参加している。

② その他の活動

週2回、午後に外出し散歩等で身体を動かす時間をつくった。

体育館活動やともしびコンサートには、希望者が参加した。

③ グループ活動

12月に忘年会を実施し、ご家族参加で昼食作りやゲームをして楽しい時間を過ごすことができた。

2月には午後の活動時間に利用者さん2名、職員とボランティア各1名ずつでカフェ体験を実施した。ボランティアとしてご家族の参加をお願いし一緒に楽しい時間を過ごす事が出来た。

5. 委員会活動

①保健委員会

家庭やグループホームと連絡を取りながら、利用者さんの日々の体調を見守った。体調を崩して欠席した場合には、電話で様子伺いをしたり、状況によっては自宅訪問をしたりした。

毎月一回、体重測定を実施し体重の変化を把握した。

健康診断の設定は利用者さんに配慮して、はまぼうと松ぼっくりに分けて出向き、採血やレントゲン検査を行った。

今年度は歯科検診を実施し、全員の利用者さんが参加した。

必要に応じて保健便りを発行し、流行性疾患への注意の呼びかけや対処方法を伝えた。

1月に職員を含め4名がインフルエンザに罹り規定期間欠席となり、通所再開には「感染症治癒証明書」を提出していただいた。

感染症対策として、インフルエンザ流行期間は利用者さん帰宅後毎日室内や送迎車内の消毒を行った。

②環境委員会

ご家族の協力を得て、6月と12月の年に2回、大掃除とワックスがけを行った。また、6月にはバルサン散布をし、害虫駆除を行った。

春から秋にかけ、活動の中で施設周辺の草取りを行ったり、職員による駐車場や裏の河川敷の草刈りを定期的に行った。

ごみの分別は、週に3日それぞれのごみの回収日に合わせ、また古紙やペットボトルについても、活動中に利用者さんと一緒に運搬して処分した。ゴミの分別が徹底されなかったので職員に周知して行きたい。

ごみのない綺麗な状態を維持できるよう、毎日活動終了後に部屋とトイレの掃除を行った。水曜の午後には保健委員会とも協力して、感染予防のためモップがけと手すり・机・椅子等利用者さんが手に触れそうなどの消毒を行った。

③安全委員会

今年度は、ヒヤリハットが少なく、事故報告が増加してしまった。幸い全てにおいて大事に至るものではなかったが、一步遅れていたらという危険を秘めたものも見受けられた。事故報告が増えてしまったのは問題だが、冷静に予測して行動すれば防げたのが大半を占めたので、当事者以外の者もふくめ、原因と対策をしっかりと確認し今後に生かしていきたい。

昨年に続き、定期的に避難訓練と総合防災訓練(11月)を実施した。利用者さん達も慣れてきたこともあり、事前予告なしで実施し、消防署への通報訓練も取り入れた。また、防災担当者会議を開催し、継続して防災対策に取り組んだ。

10月と3月には設備自主検査を実施。壁等の傷みが増えてきたが、交換を済ませた。

今後も、同じ失敗を繰り返さないよう安全に努めて行く。

[ヒヤリハット] 1件(1名)

内訳：転落(1)

[事故] 6件(5名)

内訳：ドアガラス破損(1)、TVの破損(1)、外出中の他害行為(1) … (利用者)
公用車輛破損(1)、ポーチ柱破損(1)、フェンス破損(1) … (職員)

6. 地域社会との関係

広報活動として、「ふくはまの風」を法人施設と協力して発行した。

事情により販売所をやめてしまったため、地元のお客さんと触れ合う機会が減ってしまったが、外出先や近隣を散策して地域の方との挨拶を積極的に行なった。

地元の民生委員さんをはじめボランティア及び実習生の方を受け入れ、利用者さんと交流していただくことで理解を深めるよい機会になった。

法人内の各事業所、ご家族と協力して「地域交流会」に参加した。地元の方や大勢のボランティアさんのご協力をいただき、音楽や模擬店を中心とした楽しいイベントに参加できた。

7. 家庭との関係

連絡ノートに施設と家庭の様子を記入して日々の情報交換を行った。必要に応じて電話連絡や自宅を訪問し様子伺いをした。個別支援計画作成時には全ての家庭と面談を実施し、また個々に家庭からの相談を受け面談を実施した。

ファミリーウォーキング(5月)、地域交流会(7月)、流しそうめん(9月)、大掃除(6月と12月)、活動参観・懇談会(1月)を家族参加で実施した。また、グループ活動でもご家族にボランティアとして参加を呼びかけ、ハロウィンパーティーやカフェ体験等を行った。家族参加の行事等は好評で喜んでいただいた。

8. 苦情解決体制

苦情の受付と「こんな一言聞きました報告書」の提出は無かった。

9. 内部研修

障害者権利条約の批准に伴い、虐待防止、意思決定支援、合理的配慮といった利用者さん本位により質の高い支援が求められるようになった。職員の専門知識の獲得と技術の研鑽はとても大切なことであり、法人内職員合同研修については他施設担当者と連携をとり、臨時開催も含め年5回実施した。各施設の研修担当者による合同会議を定期的に行い、合同研修会のあり方や自己評価等について積極的に検討を重ねた。また、職員会議の中で文献等の読み合せや出張報告を行った。

日付	内部研修内容
4/22	研修担当者合同会議
5/17	新任職員合同研修
6/8	<第1回合同研修会> ① 結・地域療育、地域生活支援事業 グループホーム 事業報告 ② 理事長講話 「支援上の留意点」
7/7	ケース検討
8/31	ケース検討

9/7	<第2回合同研修会> ① 防災について「地区別顔合わせ」 ② 職員のケア「自分でできるリフレッシュ」 講師：西山貴子さん・中村麻文さん ③ 理事長講話
10/14	研修担当者合同会議
10/18	権利擁護虐待防止委員会
11/24	権利擁護虐待防止委員会
11/30	<第3回合同研修会> ① 歯科衛生士による口腔衛生指導 講師 静岡県歯科衛生士会 ② 理事長講話 ③ その他 「介護技術の勉強会について」
12/6	研修担当者合同会議
1/11	<第4回合同研修会> ① 個別支援計画作成の流れ ② 理事長講話
1/17	権利擁護虐待防止委員会
1/20	研修担当者合同会議
2/1	<第5回合同研修会> ① 救命処置について ② 権利擁護・虐待防止について ③ 理事長講話
2/7	ケース検討⑥
3/18	<第6回合同研修会> ① 岡本雅子さん講演会 ② 理事長講話

10. 地域生活支援

地域生活支援事業、ライフサポート事業、福祉有償運送を利用して、施設の利用時間後や閉所日に、利用者さんや地域の方の支援を行った。そるとぼっとの利用者さんの利用も前年度に比べ増えている。

11. 相談業務・福田地区チーム検討会参加

各相談事業所や市町の担当者と連絡をとりながら、利用者さんのご家族や地域の方から相談を受け付けた。内容は、在宅生活を支えるための各支援について、特別支援学校卒業後の進路等について相談があった。

また、福田地区在住のケースについては、各関係機関によるチーム検討会に参加し、引き続き地域生活支援のケース検討を重ねた。

12. 中遠地域自立支援協議会(磐田市、袋井市)

主に知的・身体部会の「地域生活支援部会」に出席し、地域の抱える課題についての協議に参加した。課題別には「グループホーム」「ショートステイ」「相談支援事業から見える在宅支援」「自閉症等在宅支援」の各検討会があるが、そるとぼっとは「自閉症等在宅支援検討会」の担当を松ぼっくりと共に受け持ち、袋井特別支援学校の見学と意見交換の場を設定し参加し参加した。

平成 28 年度松ぼっくり活動報告

1. 在籍者の状況

平成28年度の定員40名及び定員緩和措置を含めた月別の在籍状況

区分	月	28年										29年			合 計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入 所		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
退 所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月末 在籍	男	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34		
	女	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9		
	計	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43		

日中一時支援事業デイサービス対象者

区分	月	28年										29年			合 計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入 所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退 所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月末 在籍	男	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		

2. その他の利用状況

項目	月	28年										29年			合 計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
特実 支習 等生	人員	0	0	4	0	0	0	1	2	1	0	0	0	8	
	利用日数	0	0	12	0	0	0	4	5	1	0	0	0	22	
実研 習修 ・生	人員	0	0	0	1	1	0	0	5	1	0	0	2	10	
	利用日数	0	0	0	12	1	0	0	1	1	0	0	2	17	
見 学 者	件 数	0	1	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	6	
	人 員	0	1	9	0	25	0	2	3	0	0	0	0	40	
ボテ ライ ンア	延人数	9	4	14	9	19	10	13	9	7	15	13	18	140	
	特 記														

3. 活動の状況

今年度は、Wish、スマイル、ビジョン、樹の4グループでの活動を基本に、グループ間で協力し、利用者さんや職員が行き来するなど変化と動きがみられた年となった。利用者さんによっては、年齢を重ねるにつれて生活習慣病などの予兆と思われるような体調に変化が表れてきた利用者さんもあり、今後の食生活や活動内容などの個別的な対応が必要になることも想定された年でもあった。

又、スマイルグループの活動場所の建設が始まり、その建設に係る工事打ち合わせや書類面での準備などに追われた面もあった。建設については、予定通り平成28年度内に無事完成し、新たな利用者さんも迎えて、活動を始めたところである。今後も、自閉的な方の緊急的な利用のニーズが増すことが予想され、職員の体制を確保し、どのように利用者さん同士や職員等の関係性に配慮しつつ、支援の中身やその対応を検討していくか、地域の課題として幅広い視点で捉えていかないといけないと感じているところである。

仕事については、引き続き(有)フスマ商会、コーケン工業(株)といった企業内での仕事、さくらの苑、於保老健センターでのベッドメイキングの仕事、そのみ園でのしいたけ収穫、公園清掃といった外部作業に取り組んだ。又、グループごとに請負の仕事やリサイクルの仕事を行った。

午前は作業活動を行い、午後は散歩やレクリエーションを行う点は、今年度も同様であった。そのほか、今年度もグループ活動や個別の活動を実施した。

4. グループ活動報告

Wish

利用者さん一人一人が自分の思いを伝えやすい雰囲気を作り、その中でお互いの思いを伝え合う関係も大切にしてきた。色々な活動を通し、多くの人と触れ合う機会を持ちながら本人が心地良く過ごせる環境を整えてきた。

①作業

本人が仕事を気持ちよく取り組めるような環境を整えてきた。また、本人のペースやその日の様子に合わせ、作業内容なども工夫してきた。

しいたけ作業については、長年続け定着してきたことで作業種が変わってもスムーズに作業することができている。利用者さんにとっては楽しみの1つにもなっている。

- アルミ缶/回収・缶つぶし・運搬 (三光)
- 自主製品作り (メモ帳・連絡ノート・観葉植物)
- しいたけ作業及び販売/週1回 4~7月、11~3月 (森町 そのみ園)
- ふすま組立て作業/週1~5回 ((有) 静岡フスマ商会)
- お茶の委託販売 (恵松学園)
- リングはめ (コーケン工業)

②午後の活動

午後の活動はリフレッシュすることを心掛けてきた。施設周辺を散歩したり、公園に出かけたりして身体を動かした。また、室内活動 (DVD鑑賞等) でゆったりと過ごす時間もあった。他にも紅葉を観に出かけたり、季節や自然を感じながらみんなで楽しむ機会も取り入れてきた。

③その他の活動

行事を兼ねたグループ外出・宿泊体験等は、皆で行き先、行き方、夕食等の意見を出し合う中で、計画を立てた。また、一人一人がそれぞれの楽しみを持ちながら参加でき、終わってからそのことを楽しく思い出し、嬉しそうに話をする様子も見受けられた。又、普段の活動にも励みを持って取り組むことができた。個別外出では他グループの利用者さんや職員と一緒に出かける機会も多く取り入れ、交流を深めながら楽しむができた。

【グループ活動】

活動の種類	内 容
グループ外出	桜ヶ池公園散策
グループ外出	プール外出（竜洋B&G）
宿泊体験	五味八珍、竜洋海洋公園オートキャンプ場、コテージ
クリスマス会	ジョイフル福田店
初詣	法多山にて参拝、食事
年度納めの会	1年間の振り返り・ぶんぶくにて夕食、その他

【個別外出】

行 き 先	内 容
ホテルウエルシーズン浜名湖・浜名湖パルパル	ランチバイキング、乗り物、買い物と散策
袋井ボウル&コートダジュール	ボウリング、カラオケと夕食
名古屋リニア・鉄道館	J R線利用鉄道の旅、館内見学
豊橋動植物公園	園内散策と夕食

スマイル

利用者さんひとりひとりにとって1日の見通しが立ちやすいカリキュラムを組むことで、安心して活動に参加できるように環境を整えた。

① 作 業

利用者さんひとりひとりに合わせて作業を組み合わせていった。また、集中して作業を行える環境を整えていく中で利用者さんのエンパワーメントを高めていけるよう配慮した。様々な作業に取り組む中で個々のスキルアップ、能力の高さを改めて実感できた。

○ブリヂストン（CKTキャップ分離作業、LD塗装下キャップ清掃作業、LD下バック清掃作業）

○コーケン工業（リングはめ）○大洋工業（保護カバーの袋詰め）○缶回収（3箇所）

②午後の活動

午後は、「外出」を基本とし、ひとりひとりがリフレッシュできるよう心がけた。季節を感じながら身体を動かす良い機会となった。選択する経験、そして楽しみになるようにと外出先の自動販売機でジュース、アイスを購入する機会を作り、利用者さんの楽しみに繋がった。

③その他の活動

○グループ外出・活動

季節に合わせて外出先を選び計画・実施した。グループ活動としては、月2回おやつをもって公園へ出掛けた。（地域内の店でおやつ、大判焼き等を購入）

利用者さんが楽しめるような活動を来年度も計画していきたい。（お菓子作りなど）

内 容			
6月	ガーデンパーク散策	1月	初詣（小国神社） 夕食（サガミ）
12月	クリスマスケーキ作り	3月	大塚製薬工場見学&夕食（かつ平）

○個別外出

年に1回、希望者対象で実施した。各利用者さんが楽しめるような場所や内容を計画したことで、普段とはまた違う素の表情を見せ、リラックスできる時間となったと思われる。

【個別外出】

時 期	行 き 先	内 容
5 月	豊橋動植物公園	園内散策と外食
1 0 月	名古屋リニア・鉄道館	J R線利用鉄道の旅、館内見学
3 月	袋井ボウル&コート&ジュエル	ボウリング、カラオケと外食

○宿泊体験（9／30～10／1）

松ぼっくりの施設を利用して実施。宿泊ということで落ち着かない一面も見られたが、普段の活動では見られない笑顔が見られ良い体験となった。地元の定食屋での食事を楽しめた。地域の入浴施設（しおさい竜洋）も利用でき貴重な体験となった。

ビジョン

①作 業

【内職、仕事について】

- ・千栄加工（クリップ、カード入れなど事務用品の組立て）
- ・堀住加工（袋入れ、ホチキス止め作業）
- ・コーケン工業（リングはめの仕事）
- ・静岡フスマ商会（梱包用のダンボール作り）
- ・さくらの苑、於保老健センター（ベッドメイキングの仕事）
- ・缶回収
- ・公園清掃（ふるさと公園）

②午後の活動について

午前引き続き内職など仕事をする人もあれば、公園で身体を動かしたり、図書館でゆっくりと音楽を聴いたり、新聞を読んだりして、リフレッシュする人もありました。室内活動もカラオケで歌ったり、卓球やペットボトル・ボーリングで身体を動かしたり、かるたや人生ゲーム、ジェンガなどのゲームを楽しみました。また、パソコンを利用して、個別外出の予定を立てたり、外出先のことを調べたりもしました。

活動内容について皆と相談し、お互いに気持ちに折り合いをつけながら、楽しく活動に参加できるように工夫してきました。

③その他の活動について

利用者さんのアイデアを活かしたり、思いを大切にしながら下記のように行事を行ってきました。全てを実現できたわけではありませんが、引き続き来年度へつなげていけるような活動を心掛けました。

- ・個別外出 ... 個々の希望に沿って年1回実施しました。（映画鑑賞、温泉、サッカー観戦、ボーリング、ショッピング、新東名のサービスエリアなど）
- ・グループ外出 ... 季節ごとの活動として、いくつかのグループに分かれて実施しました。（プール、初詣、外食など）
- ・宿泊体験 ... 9／2～3、9／9～10の2回に分かれて実施しました。

利用者さんたちが楽しみにしている年間行事のひとつになっています。日課を終えて、ななつぼしやリフレU、和の湯で入浴を済ませてから、参加している皆さんの希望にそって外

食をしました。夜は、仲間同士でおしゃべりをしながらお酒を飲んだり、テレビを見て楽しみました。また、職員とじっくり話をしている姿もありました。

- ・季節の行事…七夕飾り作り、クリスマスの昼食会、節分豆まき、ハロウィン、初詣
- ・おやつ作り…オムレット、ホットケーキ、ロールケーキ、ドームケーキ、たこ焼き

【グループ活動】

活動の種類	内 容
グループ外出	ジョイフル、アピタ、カンサスなどで軽食
宿泊体験	松ぼっくりを利用して宿泊、入浴（しおさい竜洋、和の湯ななつぼし、リフレU）、外食、花火、お酒を楽しむなど
グループ外出	プール外出（竜洋B&G）
クリスマス会	飾りつけから買い物、準備、食事を楽しむ
初詣（お参りと外食）	五社神社、小國神社

【個別外出】

行 き 先	内 容
ポーリングと浜松ショッピング	ポーリング、買い物、外食
華咲の湯	温泉入浴と外食
ならここの湯、掛川バレーセンター	温泉入浴と外食、バレーセンター
ヤマハスタジアム	サッカー観戦と買い物・食事
ららぽーと磐田	映画鑑賞・食事・買い物
新東名 NEOPASA 岡崎	買い物と外食

樹 G

グループ全体の人数も増え、新しい環境になった事で困る事がないように雰囲気づくりをしてきた。気持ちの良い落ち着いた場所の提供を心掛け、その中で、「本人の思い」を大切に認めあう関係作りをし、自分の気持ちを伝え合い悩みを相談出来るような環境を整えた。

作業面では、朝の会等で自ら取り組む作業を選び、目標を持ち取り組み、出来た喜びを味わえるようにした。

活動面では、楽しめる事を中心にリフレッシュする時間を大切にした。身体的な事も考え、仕事前に簡単なヨガ・活動中には散歩・卓球など簡単な運動を取り入れた。また、全員・小人数で活動する事を交互に行う事で、他の利用者さんに合わせる力を持って、自分の気持ちを言い合える関係作りが出来るように努めた。

①作 業

落ち着いて気持ちよく作業に取り組めるよう、環境を整え、作業への意識、意欲が継続的に持てるようにした。

- ・(株)コーケン工業（リングはめ作業）
- ・千栄加工（クリップ・カード入れ）
- ・堀住加工（袋入れ）
- ・公園清掃（ふるさと公園）
- ・(有)静岡ふすま商会（ふすまの組み立て・出荷用の箱・出荷時の衝撃緩和材作り）
- ・自主製品（曼荼羅アートのメモ帳・ノート、ポチ袋、縫製品等）
- ・しいたけ作業

②その他の活動

<午後活動>

自分の意見を出し、相手の意見を聞く中で、活動を選び決めていった。また、利用者さんとの話し合いで、今年の話題のオリンピックにちなんで樹リンピックを行い、新しく卓球・競争などを取り入れ楽しみながら身体を動かしていった。

また、利用者さんと話し合う中で意見として出てきたハロウィーンも仮装したり、クリスマス等は、利用者さんと一緒に準備をして楽しんだ。

(内容：ドライブ、買い物、散歩、カラオケ、DVD鑑賞、おやつ作り、パソコン、音楽鑑賞、w i iスポーツ、サッカー、風船バレー、卓球、ペットボトルボーリング、リレー競争等)

<グループ外出>

利用者さんが意見を出し合い、計画を進めていった。

*毎週月曜日はグループ全体での活動を心掛けた。(樹リンピック・散歩等)

【グループ活動】

活動の種類	内 容
グループ外出 (5月)	サンサンファームにていちご狩り
グループ外出 (7月)	大須賀イオンタウン外食、桜ヶ池公園散策
グループ外出 (7月)	プール外出 (竜洋B&G)
グループ外出 (8月)	小國神社、アクティ森 (かわせみ) にて食事
グループ外出 (8月)	渚の交流館にて食事と散策
クリスマス会 (12月)	テイクアウト・パーティー形式で実施。
初 詣 (1月)	初詣～五社神社、鴨江寺、ラフェスタ鴨江にて食事
年度納めの会 (3月)	ボランティアさんも交えて年度納めの会を実施、お茶会

<個別外出>

個々の希望に応じて場所等決めていった。他のグループの利用者さんと一緒に行く機会も設けた。お小遣いもある中での活動なので、また違った楽しさを味わっている様子が伺えた。

行 き 先	内 容
イオン志都呂、喫茶他	買い物と散策、外食
浜名湖パルパル、ウェルズン浜名湖	ロープウェイ、ランチバイキング、買物
大原屋とコートダジュール	カラオケと外食
ホテルウェルズン浜名湖・浜名湖パルパル	ランチバイキング、乗り物、買い物と散策
豊橋動植物公園 (のんほいパーク)	園内散策と外食、買い物

<宿泊体験>

10月に、松ぼっくりで宿泊を行った。利用者さんが主体となって意見を出し合い内容を決めていった。恒例で、楽しい行事でもあるのでそれぞれのペースで、無理なく過ごすことが出来ていた。食事や買い出し、お風呂、花火などの場面ごとに、それぞれの楽しみ方をして過ごしていた。

5. 音楽活動

【ともしびコンサート】

音楽活動を中心に活動しているNPO法人に依頼し、月1回、季節感のある音楽（歌）や楽器、歌のリクエストなどに親しむ機会を設け、室内コンサートを行う。「ともしびコンサート」も恒例となっており、専門家による演奏を聴いたり歌を歌ったり、皆で楽しくリフレッシュする時間となっており、参加者同士の交流もみられた。

6. 環境美化委員会

◎大掃除・・・年2回に分け、ご家族の力を借りながら実施した。

第1回目・・・7月1日（金）、7月6日（水）

1日目・・・窓拭き外側・窓拭き内側・網戸・トイレ・草刈り・作業棟、外壁

2日目・・・部屋の掃除・部屋のWAX掛け・剪定・事務所 ※2日目は職員のみでの実施。

第2回目・・・12月9日（金）、12月14日（土）

1日目・・・窓拭き外側・窓拭き内側・網戸・トイレ・作業棟・外壁

2日目・・・部屋の掃除・部屋のWAX掛け ※2日目は職員のみでの実施。

◎日常の掃除・・・毎日放課後にトイレ掃除・床のモップがけを行ってきた。また、毎週金曜日、午後の活動に掃除を組み入れ、利用者さんと一緒に取り組んできた。
（毎日使っている作業室や食堂・トイレ・車洗い等）

◎草刈り・草取り・・・第1回大掃除の時に建物周辺の草刈り・草取りをご家族と実施した。また、地域交流会の前にもご家族や法人内の職員に協力を仰いで実施した。

◎ゴミ出し・・・市の定める規則に従って収集日の前日にゴミの分別を行い、当日ゴミ当番が集積所へ出した。古紙・ダンボールについては、市内に設置してある古紙回収ステーションへ搬入して処分をした。

◎施設周りの美化・・・施設の周囲に燃えやすい物がないか等の見回りや落ちていたゴミの処分を行った。

◎粗大ゴミの処分・・・地域交流会と大掃除の時期に合わせてコンテナを借り、施設内やハウス等の整理を通して粗大ゴミの処分を行った。

◎経費節減・・・引き続き、無駄な電気や水の利用を控えるような働きかけや失敗してしまったコピー用紙裏紙利用の推進を図ってきた。

◎暑さ対策・・・夏場は作業棟周りに日よけネット等を設置して暑さ対策を行ってきた。

◎防虫対策・・・7月5日（火）の放課後、施設内及び作業棟内において一斉にバルサンを実施。

7. 安全委員会

① 活動の報告と反省

- ・ 年度内の事故は4件、ヒヤリハット報告は5件。交通事故がヒヤリハットも含めて増加しており、改めて朝のミーティングなどを通して注意を呼びかけた。内容も職員間の連携ミスや、職員の体調、疲労などの面も影響しているように感じられた。
- ・ 年度内に職員の疲労を和らげるような内容の研修を企画したが、実施できていない。改めて検討していきたい。
- ・ 朝のミーティングや職員会議を通して、交通事故の情報や時季ごとの運転に関する注意事項を職員に伝達、回覧をしていく中で、交通安全の意識を高める機会を設けた。

② 来年度に向けて

- ・ とにかく、ヒヤリハット報告の充実に力を入れていく。
- ・ 回覧の仕方など見ても情報の伝達について工夫の必要性を感じる。単に情報を広めるこ

とが必ずしもプラスに働くことばかりではないので、必要な事をしっかりと伝えていくようにできると良い。

- ・ 朝のミーティング簿が現在一番活用されているので、これを十分に活用していくことを考えていく。
- ・ 活動計画の作成、事故報告書のまとめ、建物の状況チェック、ヒヤリハットのまとめ（ミーティング簿より）を分担して実施していく。

8. 生活・保健衛生委員会

- ① 健康診断の実施（春）… レントゲン検査、採血、保菌検査、検尿、血圧、身体測定、嘱託医による問診（秋）… 採血（春に未受診の方）、保菌検査、検尿、嘱託医による問診
歯科検診実施。（6月）
- ② 記録の管理・記入・・・健康記録表、健康診断個人表、健康診断結果表、嘱託医訪問記録、投薬記録（緊急用も含む）の記入 ⇒松ぼっくり～発作の記録は、不十分だったので年度末にチェックしていきたい。また、投薬記録の変更も十分でなかった。
- ③ 個々人への衛生面への配慮
⇒入浴、洗髪、整容、手洗いなどをチェックし声かけや家庭への連絡等を行なった。
- ④ 感染症への対応
 - ・ インフルエンザやノロウイルスが流行期には、手洗い・うがいの声かけ、部屋の換気の実施などを積極的に行なった。水曜日の午後の清掃終了後、次亜塩素酸ナトリウムで消毒を行ない、流行期は毎日実施した。
 - ・ インフルエンザ⇒**㊦**4名がインフルエンザに感染、通所停止となった。
(**㊦**3名・・・家族の感染による出勤停止)
 - ・ 嘔吐下痢症、急性胃腸炎の感染は見られなかった。※吐物処理セットを購入し、各グループに設置するようにした。
- ⑤保菌検査・・・利用者さんは、健康診断時（春・秋の2回）、職員は毎月実施した。
- ⑥『保健だより』の発行・・・時期や状況に合わせた情報提供をした。
- ⑦体重測定の実施・・・毎月1回実施し、体重表を通して各家庭にお知らせした。
- ⑧職員研修・・・合同研修を実施し（年1回）、感染症の知識を再確認する機会を設けた。
又、今年度は静岡県歯科衛生士会による口腔衛生指導を実施。

9. 行事・バザー報告

月		行事等	担当	バザー等
4	15日	地域交流会会合		
	25日	レントゲン検診		
5	27日	はまべ会役員会・会計監査	29日	ヤマハジャンボリー
	31日	はまべ会総会		
6	1日	血液検査	2日	地域交流会はまべ会打合せ
	13日～	袋井特別支援学校実習	4日	磐田北高さみどり祭
	30日	歯科検診		
7	1日、6日	大掃除(7/1、7/6)	23日	地域交流会バザー うなぎ、寿司販売
	23日	地域交流会		
8	23日	サマーショートボランティア		
	25日	地域交流会反省会		

9	2,3,9,10,30,1	ビジョン、スマイル宿泊体験		
10	24日～	袋井特別支援学校実習		
	21,22,28,29	樹、Wish宿泊体験		
11	9日	健康診断(問診等)	19日	光る子まつり
	10日	福田中学福祉体験学習	20日	ふれあいまつり
	26日	ウォーキング(フラワーパーク)	26日	磐田ふれあい作品展
	29日	ヤマハ労連観劇		
	29日～	袋井特別支援学校実習		
12	9、14日	大掃除・総合防災訓練(水害) クリスマス会(各G)		
1		成人を祝う会		
2		個別面談		
3		個別面談・年度納めの会		
	9日	はまべ会役員会		
	23日	はまべ会総会		
毎月1回 ともしびコンサート開催 毎月1回 避難訓練実施 随時 浜松学院短大(保育実習Ⅰ)、東海福祉専門(相談援助実習)、磐田北高(介護実習) 随時 袋井特別支援学校現場実習及び保護者福祉事業所体験				

10. 人権擁護・虐待防止委員会

利用者さんの人権を擁護し、虐待を未然に防止するために、管理者を責任者とし、虐待防止の組織(人権擁護・虐待防止委員会)を設置。今年度は研修担当者として協力し、合同研修会にて利用者さんの人権擁護や虐待防止について職員への周知とともに学ぶ機会を持つとともに、日常的な自己点検をするために「虐待防止チェックリスト」を機会あるごとに実施するよう努めた。

又、利用者さんの呼称の面も、朝のミーティングなどで呼びかけ、自分自身で確認するように提案した。

11. 内部研修

年間計画を基に研修担当者で企画の立案と実施を行った。主に、水曜日の午後の時間を研修活動に充て、法人全体研修を計6回にわたり実施した。

今年度は合同研修会を中心に実施し、事業所間における情報共有や意見交換を図る機会を設ける中、日頃の支援を見つめ直す機会を設けることができた。引き続き、研修内容や研修方法を改めて見直し、職員の資質向上に向けた取り組みを実施していきたい。

<活動内容>

日付	内容	担当者
6/3	結・地域療育、地域生活支援事業、事業報告、理事長の話(合同研修会)	各担当者 研修担当者
9/7	防災について、職員のケア 理事長の話(合同研修会)	防災担当者 研修担当者
11/30	歯科衛生士による口腔衛生指導、理事長の話(合同研修会)	生活保健委員会

1 / 1 1	個別支援計画作成の流れについて 理事長の話（合同研修会）	研修担当者
2 / 1	救命処置について 虐待防止委員会によるグループ討議 理事長の話（合同研修会）	人権擁護・虐待防止委員会
3 / 1 8	岡本雅子さん講演会 理事長の話（合同研修会）	研修担当者

12. 苦情解決体制

平成28年度としては、苦情受付として0件、こんな一言聞きました報告5件という状況であった。内容については、職員の対応に関するもの1件、サービスの内容に関するもの2件、施設や法人の対応に関するもの2件であった。特に「松ぼっくり」としては、送迎サービスや休日の地域生活支援事業などの他のサービスとの連絡や伝達面での確認に関するものが挙げられていた。今後の課題としたい。

13. 相談・福田チーム検討会

施設等で受ける相談については、相談支援専門員・リーダー・地域生活支援担当者を中心に、磐田市、袋井市等の委託相談事業所などの関係機関と連携をとりながら実施している。内容は、通所に関する相談・在宅者への生活支援、学齢児の長期休暇時や放課後の支援相談・進路相談等。また福田地区在宅者のケース検討会(福田チーム検討会)に年5回ほど参加。地区内の各機関が一致した認識が持てるように、協力して進めている状況である。

又、高齢者のご家族を持つ家庭での利用者支援について、地域包括支援センターなどの相談機関との連携はもちろん、障害福祉関係施設だけでなく、ふじのくに型福祉サービスをはじめとする介護保険関係事業所の利用も少しずつ始まっている。

14. 中遠地域自立支援協議会

中遠地域自立支援協議会は、磐田市及び袋井市が地域生活支援事業実施要綱(厚生労働省通知)に基づき、障害福祉に関するシステムづくり(相談支援事業等)のため、関係機関の連携強化、社会資源の開発・改善等を推進する目的で設置されている。代表者会、幹事会、個別支援会議を軸に構成されており、参加については、今年度も法人全体で担当職員を決めて、その職員を中心に必要に応じて参加した。

部会については現在検討中であるが、主なものとして「重心部会」、「こども部会」「防災部会」「地域生活支援部会」「就労部会」等がありその他に課題別検討会である「グループホーム」「ショートステイ」「自閉症等在宅支援」「相談支援専門員連絡会」「訪問系サービス連絡会」などがある。

平成28年度 潮の香活動報告

1 平成28年度の定員（20名）の月別在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
男	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
女	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

2 その他の利用状況

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	特実支習等生	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実研習修・生	延べ人員	0	8	8	2	1	8	8	0	6	6	2	4	53
	日数	0	4	4	1	1	4	4	0	3	3	1	4	29
体見験学・者	人員	0	0	2	6	0	1	2	6	1	0	0	0	17
	件数	0	0	1	2	0	1	1	2	1	0	0	0	8
ポテラインア	延べ人数	11	12	11	16	13	11	13	13	11	11	13	15	150

3 活動の状況

(1)仕事について

本年度も、地域に根ざした自主製品の「祭典用のき花作り」、請負の「堀住加工有限会社（ヤマハのオートバイ部品）の袋詰め・ホッチキス留め」、「ダイオ化成株式会社（網戸張替用ローラー）の袋詰め」、「有限会社マックスのダミー作業」の仕事を行ってきた。

また、地域の一員として事業所で働くことを考え、引き続き「コーケン工業（自動車部品）」と「静岡フスマ商会（段ボール組み立て等）」と「カネ長水産（しらす加工）」と「於保老健（ベッドメイキング）」へ出向を行ってきた。

《のき花製作》

今年度も福田地区祭典用のき花の、製作総本数約19,900本（寄付を含む）を利用者さん・職員及びボランティアさんの協力を得て作業を進め、無事に出荷することができた。

※本年度も竜洋地区や磐田北地区、個人等から注文を受けた。

《請負作業》

「ヤマハのオートバイ部品の袋詰め」を行ってきた。日によって量や部品の形・大きさが違っているが、そのことにも対応する能力を持ち、積極的に作業に取り組んできた。「ダイオ化成株式会社」の仕事は、網戸張替用のローラーを袋に入れてから箱詰めする作業で、以前は袋入れに主な1名だけが関わっていたが、今では取り組む方が数名まで増えた。また、ヤマハの仕事の合間を縫って行っている、電気部品のカプラへのダミー作業「有限会社マックス」は始めてから4年半が経った。小さなゴムを穴に押し入れる細かな作業だが、作業に集中できるよい仕事であり、みんなの好きな仕事でもある。

《外部作業》

地域への社会参加と就労支援の一環として、地域の事業所等に積極的に出掛けて仕事をする機会を作ってきた。

コーケン工業㈱には現在も男女4名が出向しており、新しい作業に挑戦したり作業量を増やしたりするなど、自分の持つ力を十分作業に発揮し、充実した毎日を過ごすことができています。年に2回はリフレッシュのため1日外出する機会を作り楽しんでいる。

(有)フスマ商会とカネ長水産には男性1名ずつが出向している。すでに長く働いているため事業所との信頼関係もあり、安定して出向できている。

また、於保老健へベッドのシーツ交換作業に1名が出掛けている。前職でのシーツ交換の経験を活かし取り組むことができています。

(2)その他の活動

毎日が作業中心の生活であるため、みんなが楽しめる活動を目指し年間計画を立てて実施してきた。各種行事・外出には利用者さんの意見を取り入れながら企画し、充実した楽しい活動内容となった。

① スポーツ・散歩・レクリエーション等

朝のラジオ体操・ストレッチ体操・散歩は欠かさず毎朝励行してきた。

今年度のスポーツは久しぶりにボウリング大会を行った。袋井グランドボウルで2ゲームを投げ、スコアを競い合い楽しんだ。

土曜レクでは公園でグランドゴルフを楽しんだ。真剣な表情でゴールを狙う姿が見られた。

磐田北高介護実習生の考えたレクリエーションで、様々なゲームを一緒に楽しんだ。

② 料理作り

近隣の方に頂いたサツマイモを使って「スイートポテト」を作った。リフレUの調理室を借り、潰したり形を作ったりとそれぞれできることを分担して調理した。完成したスイートポテトは個性があったが、とてもおいしくできた。

③ 音楽・美術の鑑賞及び出展

美しいもの、創造的なものに触れるための美術鑑賞・音楽鑑賞会を積極的に行ってきた。美術関係では、中泉で行われた磐田市在住の作家の作品を鑑賞し、ミックスドメディアの世界に親しむことができた。また、今年度もふれあい作品展に1名が出展し、趣味で撮り続けている写真を多くの方に鑑賞してもらい、喜びを感じることができた。

音楽関係では、地域交流会で間近に楽器演奏や歌を聴き、一緒に歌ったり踊ったりすることができた。また、今年度もヤマハ労連招待のチャリティー公演でミュージカルを観劇し、大いに笑ったり歌ったりと楽しむことができた。

日常的な音楽活動は、利用者さんと季節ごとに選曲した歌を、朝の会で毎日欠かさず歌ってきた。今年度は「やさしさに包まれたなら」「にじいろ」などを歌った。声を出すことによって元気が出たり、合唱でみんなの気持ちがまとまったりする効果があるので、今後もずっと続けていきたい。

④ 野外活動（年間4回実施）

普段の利用者さんとのコミュニケーションから野外活動のヒントを得て、行き先等を決めてきた。そして、どの野外活動でも意欲的に取り組んできた。

主なものとして、お花見は、森町の小国神社の桜を見に弁当を持って出掛け、あいにくのお天気のなかのお花見となった。5月にはスポーツ体験として、袋井グランドボウルでボウリング大会を開催した。みんな2ゲームずつ投げスコアを競い合い楽しんだ。10月のウォーキングは浜松フルーツパークへ出掛け、園内を気持ちよく一周し、程よく疲れた後にはデザートバイキングを堪能し、疲れを癒すことができた。11月のミニ旅行は、愛知の竹島水族館へ行った。この日もあいにくの雨模様だったが、変わった魚を見たりアシカのショーを見たりして大いに楽しんだ。

⑤ 個別体験

今年度も、年1回の個々が希望する体験を行った。個人や少人数で出掛け、それぞれ一日を楽しく過ごすことができた。

- | | | |
|--------|--------------|------------|
| ・ 4/2 | 桜見物 | 1名参加（職員1名） |
| ・ 5/26 | 岡崎城 | 3名参加（職員2名） |
| ・ 6/20 | 浜松市動物園 | 2名参加（職員1名） |
| ・ 6/21 | カラオケ | 2名参加（職員1名） |
| ・ 6/27 | 買い物 | 2名参加（職員2名） |
| ・ 7/7 | エアパーク | 2名参加（職員1名） |
| ・ 8/26 | あらたまの湯&バイキング | 1名参加（職員1名） |
| ・ 8/29 | 竜ヶ岩洞 | 4名参加（職員2名） |
| ・ 11/4 | 釣り | 1名参加（職員1名） |

⑥ BDショッピング（パースデーショッピング）

利用者さんの誕生月に、朝の会等でお祝いの言葉をかけたり、買い物に出掛け決められた金額（500円）の中で好きなものを買って、楽しく実施できた。（例：お菓子、日用品、CD、雑貨など）

⑦ 地域清掃

散歩をしながらゴミを拾う活動を行った。少しでも地域のために役に立つこと、また、きれいな心を育むためにと、「ひろ道ウォーク」を月に1回のペースで続けてきた。(冬期12月～3月は休止した)

今年度は、普段の散歩でよく歩く潮の香周辺地区を主に行ってきた。安全や熱中症に十分配慮しながら、地域との繋がりを大切にするために、これからも続けていきたい。

⑧ イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン(マックスバリュ福田店投函分)

活動ではないが、今年も皆様の温かなご協力により、今回は27,700円の助成をいただいた。助成金はイオンギフトカードとして寄贈され、一人ずつの物としてお菓子や日用品などに替え、皆さんへお渡しすることができた。ご協力くださった皆様には心から感謝いたします。

⑨ その他の活動

今年度も納涼祭を開いた。納涼祭には作業棟の敷地でかき氷、ポップコーン、綿菓子などを食べて楽しんだ。また、今年度もかもめへの寄付をいただいた。そのはがきで、日頃お世話になっているボランティアさんや保護者の方、外部作業先の事業所さんなどに暑中見舞いを伝える機会を作った。字を書く機会を時々作ることによって能力を低下させないようにしてきた。創作活動として、クリスマスに向け松ぼっくりを使ってクリスマスツリーを作った。飾り方を自分で考え、かわいいオリジナルのものが出来上がった。

(3)食事等について

- ・ 歯が弱い方、呑み込みが難しい方には、食べやすい大きさに刻む支援を行った。
- ・ 健康に配慮しなければいけない方については、給食の油物を少し減らしたり、ソース・醤油をかける量を調節したりする支援を行った。
- ・ 自分での配膳をやりやすくするために弁当の置き場所を工夫し、改善が図られた。
- ・ 食事後、食堂の床の雑巾がけを利用者さん全員の当番制で行ってきた。進んで取り組める利用者さんが多くなった。

(4)健康管理及び安全

利用者さん一人ひとりの健康を維持し、体力の向上を図るために、次のような支援をしてきた。

- ・ 日常生活の衛生面においては、手洗い、うがい、歯磨き等の励行を強力に進めてきた。ドアノブや手すりなど頻繁に触れる場所は、週1回の消毒を行ってきた。特に感染症が流行る時期には頻繁に行ってきたが、グループホーム利用の方2名を含む計3名がインフルエンザにかかる残念な結果となった。
- ・ 朝のラジオ体操・ストレッチ運動・散歩は毎日欠かさず実行できた。ストレッチは利用者さんが先生になってもらい、意識を高めてもらった。
- ・ 心の悩みを訴える利用者さんには定期的に話を聞いたり、表情や身体の変化が見られる利用者さんには職員から積極的に話し掛けたりして、その対応を図った。心の病については、主治医との連携や職員による傾聴など、必要に応じて対応を考えてきたが、本心を聴き出すことや実際の状態を知ることの難しさは依然残った。
- ・ 通所のための自転車利用者に対しては、帰りの会等で毎日のように交通安全注意を呼びかけてきた。交通事故などの事例はなかった。

- ・ 地震（津波）及び火災を想定した避難訓練を本所と作業棟で毎月交互に実施し、安全で迅速な避難ができるようさまざまな場面での「予告なしの訓練」を行ってきた。

11月7日は、磐田市消防署の協力を得て総合防災訓練を実施した。本所と作業棟それぞれで、地震により津波が発生した場合の車両での避難訓練を行った。また、職員による通報訓練や、全員で消火器の取扱いと消火方法を指導いただき、火災への対応を学んだ。

(5)委員会活動

利用者さんの生活・健康管理並びに安全・環境整備等について、松ぼっくりと協力して委員会を設け、協議や活動を行ってきた。

① 生活・保健衛生委員会

- ・ 健康診断の実施（6月1日、11月9日）

レントゲン、採血、嘱託医による問診、保菌検査（年2回）

身体測定（身長・体重）・検尿と血圧（潮の香で実施）、体重については毎月実施し、連絡帳の身体測定表に記入し家庭にお知らせした。

- ・ 個人の衛生面への配慮

入浴、洗顔、洗髪、整容、うがい、手洗い、歯磨きなどの励行と、家庭との連携を図ったがまだ十分ではなかったため、引き続き働きかけていく。特に、入浴が不十分な方は着替えも不十分なため、着替えと洗濯の支援を行ってきた。手洗い・うがいは外出後必ず行い、点検も実施してきた。歯磨きは食後に行い、磨きが苦手な方には職員が手を貸してきた。出来たら歯みがき表に印を付けるようにし、意識を高めている。

ハンカチの所持やトイレでの靴の履き替え、汗拭きについては常に声掛けをしてきたが、十分ではなかった。

- ・ 全員が歯科検診を行い、結果はご家庭へ知らせた。
- ・ 職員研修会の中で、口腔衛生について学んだ。
- ・ 保健だよりを発行し熱中症や感染症の予防を早めに呼びかけた。

② 環境美化委員会

家族の方の協力を得て、6月24日、12月8日に大掃除を計画し、本所と作業棟に分かれ作業室・食堂などの清掃・整理・ワックスがけ等を行い、環境美化に努めた。また、気持ちよく通所できるように、花の世話や草取りなどを利用者さんと一緒に行ってきた。

③ 安全委員会

- ・ 会議や朝のミーティングなどで事故防止に関する話し合いを適時行った。
- ・ 毎月1回施設内外の設備点検を行い、不良箇所の修正に努めている。
- ・ 今年度は無事故で終えることができ、事故報告書やヒヤリハット報告書の記録は無かった。

④ 人権擁護・虐待防止委員会

利用者さんの人権を擁護し、虐待を未然に防止するために、管理者を責任者とし、虐待防止の組織（人権擁護・虐待防止委員会）を設置。今年度も研修担当者として協力し、合同研修会にて虐待防止チェックリストを使用し、利用者さんの人権擁護や虐待防止について職員への周知を図った。会議では、合同研修会での内容についての話し合いを行った。利用者さんの安心、安全と人権擁護の観点から、適正な支援が提供され、利用者さんの自己実現と社会参加のための支援を妨げることのないよう、定期的にまたは適宜、委員会を開催し、虐待の防止に努めていく。

4 行事・バザー報告

月	行事等	担当	参加者		バザー等	担当	参加者	
			はまべ会	ボラ			利用者	はまべ会
4	野外活動Ⅰ（花見）(1) 家族懇談会(26)		○					
5	お話の会(12) 野外活動Ⅱ（ボウリング）(16)			○	ヤマハジャンボリー (29)			○
6	大掃除(24) 歯科検診(30)	環境美化委員会	○	○				
7	お話の会(7) 地域交流会(23)		○	○	地域交流会バザー(23)			○
8	納涼祭(17)							
9	お話の会(10)			○				
10	活動参観及び懇談会(13) 野外活動Ⅲ（ウォーキング）(24) 調理実習(31)		○					
11	総合防災訓練(7) お話の会(10) 野外活動Ⅳ（ミニ旅行）(14) ヤマハ労連観劇(29)			○	ふくでふれあいまつり(20)			○
12	大掃除(8) クリスマス忘年会(26)	環境美化委員会	○					
1	初詣・新年会(6) お話の会(12)			○				
2	豆まき(3) 個別面談	担当・サビ管	○					
3	個別面談 お話の会・ボランティアさんに感謝する会(9)	担当・サビ管	○	○				
他	4～11月 ひろ道ウォーク実施 BDショッピング（誕生月実施）							

5 職員研修

年間計画を基に研修担当者で企画の立案と実施を行った。主に、水曜日の午後の時間を研修活動に充て、法人全体研修を6回実施した。

今年度は職員の精神や身体の健康を保つための「職員のためのケアタイム」を開催。理学療法士の方をお招きし、アクティブ ID ストレッチングで体をほぐした。第3回には歯科衛生士の方により、利用者さんの歯磨きの支援方法やその他疑問などを、事前アンケートをもとに学ぶことができた。また、第5回には非常時のスキルアップのため救命処置について学び、心臓マッサージやAEDの取扱いについて理解することができた。

それから、7月に起きた事件を受け、これまで以上に、「支援の基本とは何か」「利用者さんの呼称について」など、支援の振り返りを研修で何度も話し合ってきた。また、当事者の生の声を聴く機会を作り、生活や気持ちを知ることができた。これからも、職員自身の管理も考えた内容を取り入れつつ、利用者さんの人権や虐待防止等について、関わる全員で理解を深めていく。

<活動内容>

日付	内部研修内容	担当者
6/8	<第1回合同研修会> ① 結・地域療育、地域生活支援事業 グループホーム 事業報告 ② 理事長講話	研修担当 各事業担当者
9/7	<第2回合同研修会> ① 防災について(地区別顔合わせ) ② 職員のためのケアタイム ③ 理事長講話	研修担当 防災担当 保健委員
11/30	<第3回合同研修会> ① 歯科衛生士による口腔衛生指導 ② 理事長講話	研修担当 保健委員
1/11	<第4回合同研修会> ① 面談から個別支援計画作成までの流れ ② 理事長講話	研修担当
2/1	<第5回合同研修会> ① 救命処置について ② 人権擁護・虐待防止について ② 理事長講話	研修担当 保健委員 人権擁護・ 虐待防止委員会
3/18	<第6回合同研修会> ① 岡本雅子さん講演会 ② 理事長講話	研修担当

6 地域生活支援

地域生活支援事業やライフサポート事業を利用して申し込みのあった、施設利用者さんや地域の方の時間外や休日の支援を法人内他施設と連携して受け入れた。

7. 相談業務・福田地区チーム検討会参加

各相談事業所や市町の担当者と連絡をとりながら、利用者さんのご家族や地域の方から相談を受け付けた。内容は、在宅生活を支えるための各支援について、特別支援学校卒業後の進路等について相談があった。

また、福田地区在住のケースについては、各関係機関によるチーム検討会に参加し、引き続き地域生活支援のケース検討を重ねた。

8. 中遠地域自立支援協議会(磐田市、袋井市)

知的・身体部会には、「こども部会」「進路・就労部会」「地域生活支援部会」「防災部会」「重心部会」の各専門部会があり、その中の「地域生活支援部会」には、課題別に「グループホーム」「ショートステイ」「自閉症等在宅支援」の各検討会があり、福浜会からは担当者を決め積極的に参加した。「地域生活支援専門部会」のまとめ役、「重心部会」「防災部会」「自閉症等在宅支援検討会」「グループホーム検討会」の担当者として福浜会も関係し進めてきた。

平成28年度指定特定・障害児相談支援事業所「結」 事業報告

1. 平成24年10月より磐田市の認可を受けて実施する。

(1) 事業概要

障害者（児）の自立した生活を支え、障害者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援する。

(2) 対象者

- ・ 障害福祉サービスまたは地域相談支援を利用するすべての障害者
- ・ 障害福祉サービスを利用するすべての障害児

(3) 対象地域・・・磐田市、袋井市、掛川市、浜松市、森町

(4) 内容

①計画相談支援

○支給決定時（サービス利用支援・障害児支援利用援助）

- ・ 支給決定又は支給決定の変更前に、サービス等利用計画・障害児支援利用計画（以下、「計画」という。）案を作成
- ・ 支給決定又は変更後、サービス事業者等との連絡調整、計画の作成

○支給決定後（継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助）

- ・ 厚生労働省が示した対象者ごとの標準期間を原則として、各市町で定める期間ごとに、サービス等の利用状況の検証を行い計画の見直しを行う（モニタリング）。
- ・ サービス事業者等の連絡調整、支給決定又は支給決定の変更に係る申請の勧奨。

②基本相談支援

- ・ 障害者や障害児からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等の他、必要な便宜を供与する支援

2. 平成28年度を振り返って

- ① 平成27年度からは磐田市を中心とした近隣の市町でも、ほぼ100%のサービス利用者に計画相談が実施され、現在は標準6ヶ月毎のモニタリングを通して、利用者の状況を把握し、課題解決の度合いや新たな課題を探り、今後の方針を確認することが主な事業内容となっている。
- ② その意味でも市の委託を受けている一般相談の事業所や就労・生活支援センター、または地域包括支援センターや介護保険のケアマネジャー等と連携しながら対応することは、重要な事柄となっている。中でも65歳以上となる利用者には介護保険の認定が求められ、今後も高齢者を取り巻く相談窓口としての、地域包括支援センターとの連携は増々欠かせない状況となっている。
- ③ 児童の場合は「あにまあと」の放課後等デイサービスを利用している方の計画が中心で、平成28年度新規の2名を含めて、大半が重症心身障害児の計画相談となっている。
- ④ 中遠自立支援協議会の中に相談支援専門員連絡会があり、平成28年度は磐田市と袋井市合わせて13カ所の相談支援事業所が参加し、年間5回の連絡会を開催している。昨年度に引き続き各事業所の抱える課題の検討や、行政との計画に関するすり合わせ作業などが行われた。

* 福田地域連携会議(福田地域包括支援センター主催) 年6回開催・出席

* 福田地区チーム検討会 年5回開催・出席

平成28年度の計画作成数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	4	8	4	12	14	13	10	4	3	8	14	19	113
(児童)	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3	1	5	12
合計	5	8	5	13	14	13	10	4	3	11	15	24	125
モニタリング	6	7	8	20	23	41	5	10	9	28	23	35	215
(児童)	0	1	0	3	1	4	1	0	1	1	0	1	13
合計	6	8	8	23	24	45	6	10	10	29	23	36	228

平成28年度地域療育支援センター 事業報告

1. 平成28年度の状況

登録者数 13人

在宅支援訪問療育等指導事業 実人員 9人 延べ回数 12回

在宅支援外来療育等指導事業 実人員 10人 延べ回数 10回

施設支援一般指導事業 0回

2. 内容については

- ・福祉サービスの利用援助・情報提供
- ・日常生活(医療的ケアを含む)に関する支援
- ・就学に関する相談支援・情報提供
- ・就学後の在宅支援 など

平成28年度は前年度の活動状況に引き続き、特に重症心身障害者(児)を対象とした動きが中心となった。中でも「あにまあと」が展開している重心児童を対象とした児童発達支援事業や放課後児童デイサービス等の関係から、見学を希望されるケースやサービス内容について相談を求められるケースが多くなっている。

平成28年度 地域生活支援事業活動報告

静岡県及び各市町が定めた「地域生活支援事業」及び「障害児者ライフサポート事業」実施要綱等に基づき、各市町の委託を受けて地域生活支援事業・ライフサポート事業・福祉有償運送を実施。利用者さん等からの依頼を受け、必要に応じた地域生活支援サービスを提供することにより、障がいのある人やその家族が地域で安心して生活できるための支援を行った。

今年度委託契約して実施したサービス内容は次のとおり。

1. 提供サービス内容（各市町との委託契約を受けて）

地域生活支援事業（提供市町村：磐田市、袋井市、掛川市及び森町）

日中一時支援事業

移動支援事業（袋井市＝外出介護事業）

ライフサポート事業（提供市町村：磐田市、袋井市、森町）

ヘルパー派遣（自宅等での支援、外出支援、送迎サービス）、デイサービス

福祉有償運送（提供市町村：磐田市、袋井市、掛川市）

2. サービス提供時間

原則として6:00～22:00で対応し、支援を実施した。早朝や夜間時間帯の支援依頼はほとんどなかった。依頼の内容は、そのほとんどが8:00～19:00の時間内に集中していた。

3. 利用状況

施設利用者さんや特別支援学校の生徒さんからの依頼が中心だった。新規の依頼も、増加傾向にあり、施設見学や面談をその都度実施して、要望をお聞きした。契約するにあたっては受け入れ体制の整備をしてから対応している。そのために新規登録ヘルパーの採用や、法人内施設の職員体制について適宜相談して対応した。

移動支援に関しては、その目的に沿って、余暇活動の充実のための支援を行なった。健康維持のための散歩の依頼や、公共交通機関を利用しての外出の依頼があった。

施設利用者さんの早朝時間帯の利用や、日中活動終了後の延長利用、または施設閉所日における日中一時支援や移動支援の利用希望があり、それぞれの施設における職員の受け入れ体制を整えながら、できる範囲で対応している。

特別支援学校の長期休暇時には、受け入れ依頼が毎年のように増加傾向にある。

掛川市の方から、相談支援事業所を通して、送迎に伴うサービス提供が可能かといった相談はあったが、市との契約をしていないため、支援には至らなかった。東遠地区からの依頼も数件あったが、地域の相談支援事業所と情報交換をしながら、地域での受け入れを基本にしながらも必要に応じて受け入れる方向で検討していく姿勢でいる。

4. その他

土、日、祝祭日などの施設閉所日の支援に関しては、登録ヘルパーに支援依頼をしていることが多いため、利用者さんが楽しく過ごすことができるように、個々の判断に委ねるのではなく、登録ヘルパー同士がお互いに相談しながら支援にあたるよう促した。

大きな事故や利用者さんに怪我などはなかった。支援の内容などについて、問い合わせが数件あり、その都度ご家族へ説明をし、必要に応じてヘルパーにその後の支援について周知、徹底した。

利用者さんの荷物の紛失に関する問い合わせが何件もあり、後日忘れ物が見つかったケースもあった。支援が終了する際には忘れ物がないように確認するよう意識付けをした。

別表

H28 地域生活支援事業 月別実績件数

磐田市

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H27
ライフサポート	72	76	95	94	60	133	112	94	108	94	106	90	1134	904
日中一時	185	169	200	175	203	231	209	156	166	146	132	177	2149	2329
移動支援	6	8	6	5	3	6	4	5	4	3	6	5	61	64
合計	263	253	301	274	266	370	325	255	278	243	244	271	3344	3297

袋井市

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H27
ライフサポート	17	19	11	15	5	14	15	23	16	27	20	25	207	308
日中一時	71	69	72	79	79	92	71	60	52	51	60	63	819	950
外出介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	88	88	83	94	84	106	86	83	68	78	80	89	1026	1258

森町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H27
日中一時	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0
外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0

掛川市

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H27
日中一時	17	14	15	16	18	13	14	11	12	10	8	13	161	158
合計	17	14	15	16	18	13	14	11	12	10	8	13	161	158

平成28年度 共同生活援助事業「汐風」活動報告

1. 入居者さん及び各グループホームの状況

【汐 風】

入居者さんの身体的状況を考慮し、体調観察や通院の支援、服薬の適切な管理など項目として整理し、その必要性に応じて実施している。そのうえで、業務日誌に記入しながら併行して体調観察を日々行なうようにし、血圧や体温計のバイタルチェックや摂食量も把握していった。

食事会、クリスマス会、外出を兼ねた懇親会など、入居者さんと世話人とで共同で計画し、ご家族にも呼び掛けて実施した。

入居者さん同士のそれぞれの関係の中で気持ちに配慮した対応をその都度心掛けているが、入居者さんがホームを飛び出して駅南の交番に行ってしまうことがあり、世話人から連絡を受けた職員がバックアップに駆けつけることがあった。

【あしたば】

全身性障がいのある入居者さんの地域生活支援事業を利用した通院や買い物、散髪などの依頼が定着して定期的に行っている。

クリスマス会や外出など、その時期に合わせて入居者さんと世話人とが共同で外出や料理作りの企画を起案し、実施した。

世話人の勤務配置がままならず、その時々に応じて法人職員が勤務に入る状況がしばらく続いている。人材派遣会社からの世話人採用もした。引き続き継続して求人募集して人材の確保を目指している。

昨年みられたインフルエンザの発症はみられなかった。

【日 和】

引き続き入居者さん同士が良好な関係でいられるように世話人が言葉がけ、促し等して配慮をしているが、関係性の中で難しい場面も多く、言い争いになるなど、トラブルになることが少なくない現状。202の居室の入居者さんが、もう一人の202号室の入居者さんとの関係の中で部屋に夜戻るのが怖く、共同の部屋である102号室にて寝泊りするようになり、しばらく経つ。心の安寧を得た様子だが、状況としては好ましいとは言えず、今後の検討課題である。

水曜日の午後の時間を利用して、日頃行なえない掃除を実施するなど業務内容の見直しを図って、定着している。

一般就労している方の一人暮らしへの実現については、依然として労働所得が安定しないことで毎月のGHの利用料の支払いについても滞りがみられており、なかなか前に進まない現状。

【みぎわ】

365日開所のホーム。身寄りがない方もいるため、時期に合わせて楽しめる行事を行ってきた。昼食会を開いたり、公共交通機関を利用し皆で出かけてランチをした。

休日に育成会や地域行事の一環で外出を楽しみにしている方には、その外出に必要な手

配（参加の用紙への記入、タクシーの手配やバス時刻表の確認と持ち物の確認など）をした。地域へ出かけ、充実した余暇を過ごした。

抱える持病のために定期通院が必要な方に関しては、自分で行く場合と、必要に応じて職員がお付添いし、服薬の処方と保管については本人と相談して取決めて管理をした。

月に1度のペースで、はまぼうでの日中一時支援を利用し始めた入居者さんが、世話人さんとの申し送りのなかで連絡が行き届かないことがあり、（日）に一時行方不明になることがあった。その後の世話人会議において、ホームからの送り出しについて統一化するべく話し合った。

入居者さんの自転車が行方不明になり、捜索したが見つからなかった。このことを本人と他の入居者さんに確認することがあったが詳細は不明のままである。喫煙場所や吸殻の処理について、入居者さんの現状とその後に対処方法について会議で話し合いがされた。

3月に入り、入居者さん3名と世話人が数名インフルエンザに感染することがあり、入居者さんに感染が拡大しないように予防に努めていただきながら対応をした。

2. 世話人体制

汐風、日和、みぎわは基本的には1日通して世話人一人体制で勤務し、あしたばは全身性障がいの方がいるため、時間帯によっては2人体制で勤務した。

夜勤体制を継続して実施した。夜勤の勤務内容としては、就寝への促し、夜間の見回り、入居者さんの安全確認、夜間における緊急時の対応である。日和の夜勤は週2回夜勤者を配置した。日和以外のグループホームの夜間体制は、毎日1名の夜勤者を配置した。また、世話人だけで全てのホームの夜勤体制を敷くには大変さがあり、法人職員に夜勤をフォローしてもらった。法人の職員が夜勤に入った場合、バックアップという位置づけからグループホーム従事者として位置付けをした。

また、週末、ホームに入居者さんが留まる事があり、状況に応じて、世話人の勤務体制を整えるなどの対応をした。

世話人の事情等により、年間を通してあしたばの勤務体制がめまぐるしく変わり、その都度勤務シフトを組み直さざるを得ない状況があった。このことから世話人の確保の問題が当法人でも浮き彫りになったと感じている。内部包括型の運営をしていくために、世話人の絶対数の確保は重要課題である。

3. 健康管理

毎朝のバイタルチェックとして検温を行い、健康管理に留意した。高血圧が気になる方には、定期的な通院の支援と毎日の血圧チェックをした。食事に関しては、肥満等の予防も兼ね、栄養バランスなど考えた世話人の手作り料理を提供している。服薬については、ホーム毎にその方法を決めて取り組んだ。体調不良など、普段と違う様子が見られた際には、日中活動の施設の職員とその都度相談し、ご家族と相談して、その後の対応をした。

就寝前後、起床前後のエアコンのスイッチON⇔OFFや温度調節などを行った。

また、時間を見つけ、入居者さんと散歩に出かけ、体力維持、運動不足解消を図る機会とした。消毒処置を定期的を実施した。

4. 活動起案書による余暇活動

入居者さんより、外出や交流会の希望が出て、世話人と相談し、それぞれのグループホームで計画を立てて実施し、余暇活動の充実を図った。

5. 購入物品について

ホームの生活に必要と思われるものについては、世話人さんより意見を伺い、その必要性について精査し、妥当と思われる物を購入した。入居者さんの部屋に欲しいものなど、個人的に購入したい物についてはご本人やご家族と相談して購入した。今後、宅配もしてくれる業者への日用品の発注を検討していく。

6. その他

ホーム毎に世話人と定期的に話し合いを行い、勤務シフトの確認と入居者さんの直近の様子申し送りや、業務の流れの確認などを行った。通常と異なる状況や様子が見られている入居者さんについて、その前後の状況や出来事の情報共有のため、ノート等による申し送りや、必要に応じて勤務前に連絡を入れて報告をするなどして対応した。また、職員がバックアップに入った際には、世話人との情報交換なども行った。

世話人に対しては、会議の折に法人の理念や目的に沿って基本的な関わり方、業務の流れの理解を大事にしながら、それぞれの世話人が同じ方向を向いて支援にあたってもらうように話に触れた。

定期的に法人で行なわれる職員向けの内部研修への出席を世話人へ要請し、研修を重ねてきた。外部研修への参加としては、中遠地域自立支援協議会のGH検討会への参加や静岡県知的障害者福祉協会の地域支援部会における研修会への出張などがあげられるが、今年度の実施は見送った。

防災対策については、必要と思われる物品をそれぞれのホームへ購入し、非常食についても整備をし、飲食料を世話人分含めて3日分を用意してある。また、MCA無線機、トランシーバーも配備している。普段からの予防意識に加え、これらの有効的な手段を活用できるよう意識付けたい。

～ 実地指導を通して ～

昨年度に引き続き3月2日に実地指導がおこなわれた。処遇の内容や、人員配置上のこと、書類が適切に残されているかなどについては、何点かの確認と説明を求められることもあった。

個別援助計画については、少なくとも6ヶ月に1回のモニタリング（見直し）を経て、その後の計画について変更がある場合はご本人、ご家族の同意を得たうえでサービス提供にあたることという認識であり、計画に変更がない場合には特に同意を求めることは必要ないとの解釈をしていたが、今回立ち会った障害指導班の方によれば、モニタリングの時期に計画の内容に変更がないにしても、同時期にご本人やご家族に“計画の内容に変更がないこと”についての同意を得たうえでその後のサービス提供にあたることについて言及があり、その後、県からの当該実地指導における助言事項欄にそのことが明記されていた。このことで、29年度以降は適切な処理が求められる。今回は、指摘・改善事項は無かった。